

第三十一回帝國議會 衆議院

戶籍法改正法律案外三件

（明治三十八年法律第六十二號中改正法律案）  
（明治四十三年法律第三十九號中改正法律案）

委員會會議錄（速記）第六回

會議

大正三年三月四日午後一時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

- 長島 鷺太郎君 麓 純義君 島田 俊雄君
- 鵜澤 總明君 熊谷 直太君 工藤 吉次君
- 石黒 磐君 光森 徳治君 吉原 正隆君
- 荒川 五郎君 齋藤 隆夫君 野村 嘉六君
- 加瀬 禱逸君 早川 六三郎君
- 出席國務大臣左ノ如シ
- 司法大臣 法學博士奥田 義人君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 司法次官 法學博士小山 温君
- 臺灣總督府 民政長官 内田 嘉吉君
- 朝鮮總督府 民政長官 荒井賢太郎君
- 長法學博士 鈴木喜三郎君
- 司法省法務局 度支部長官 荒井賢太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

司法省參事官 山内隆三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

戶籍法改正法律案

明治三十八年法律第六十二號中改正法律案

寄留法案

明治四十二年法律第三十九號中改正法律案

○委員長（長島鷺太郎君） 開會致シマス

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君） 明治三十八年法律第六十二號、明治四十二年法律第三十九號、此兩案ニ付キマシテハ特ニ説明ヲ致シマス

コトハゴザイマセヌ、唯戶籍法ノ改正ニ依リマシテ市町村長ト云フ文字ニ改メテ過ギマセヌノデゴザイマス、寄留法案ニ付キマシテハ御承知ノ通り現行法ハ先キニ御手許ニ廻シテアリマス

ト云フニテハ、明治四年ノ寄留法中ニ少シク規定ガアリマシテ、其後追々年ヲ逐フテ斷片的ニ法規ガ發布セラレテ、幾ツカノ法律規則ニナリテ居ルノデアリマス、ソレヲ今回ハ寄留法ト云フ一ツノ法律ヲ作リマシテ茲ニ纏メルコトニ致シマシタ、而シテ本法ハ案ノ骨子タルベキトコロノ九十日以上一定ノ場所ニ居住スル者ヲ寄留者ト稱シ、寄留届ヲナサシムルコトニシテノデアリマス、而シテ九十日以上ト云フコトハ、現行法モ認メテ居リマス、而シテ寄留ニ關スル届出方法、其他寄留簿調製ノ事柄ニ付キマシテハ、司法大臣ガ省令ニ依テ之ヲ定ムルコトニ致スノデアリマス、申上ゲル要點ハ是ダケデアリマス

○齊藤隆夫君 「一定ノ場所ニ居住スル者」トアリマスガ、一定ノ場所ト云フノハ定ツタ家ト云フコトデスカ、又家以外ノ場所ト云フコトデアリマスガ

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君） 家ト申シテモ、自分ガ獨立ノ家ノ借主トカ何

トカ云フモノヲ含ムノハ勿論デアリマスガ、例ハバ學校ノ寄宿舎ニ寄宿スル者トカ、下宿屋ニ下宿スル者トカ云フモノモ含マセル積リデアリマス

○齊藤隆夫君 サウスルト、例ハバ二十日間ハ麴町ニ居リ、三十日間ハ牛込ニ居リ、二十日間ハ神田ニ居ル、其上ニ三十日間ハ芝ニ居ルト云フヤウナコトハ、一定ノ場所ト云フコトハ言ヘナイカラ、寄留ノ必要ハナイト云フノデスカ

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君） 其間ハ一定ノ場所デアルガ、九十日繼續シテ居ラヌカラ要ラヌデアリマス

○齊藤隆夫君 サウスルト、芝區ノ中テ或ル町ニ居リ、又他ノ町ニ居テ九十日繼續シタラドウデスカ

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君） ソレハ本法ノ一定ノ場所ト云フノハ、即チ文字ノ示スガ如ク一定シタ場所ト云フ所謂確的ノ場所ヲ云フデアリマスガ、今ノ御話ノヤウニ殆ド隣カラ隣ニ移ッテ行クヤウナ場合ナラバ、同ジ番地ニ任ンダヤウナ結果ヲ見マスカラ、ソレハ省令等ニ於テヤハリ之ニ準ジテ届出デシムルト云フ取締法ハ設ケル積リデアリマス

○齊藤隆夫君 一定ノ場所ト云フ解釋ハ……

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君） 一定ノ場所ト云フ解釋ハ、唯今申シマス通り何番地ナラ何番地ト云フ所ニ九十日以上居住スルト云フ意味デアリマス

○齊藤隆夫君 スルト場所ハ何町何番地ト云フコトガ場所デアリマス

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君） 左様デゴザイマス

○法學博士鵜澤總明君 第一條ノ「居住スル者」ハ之ヲ寄留者トシ届出ニ因リ又ハ職權ヲ以テ寄留簿ニ記載スルコトヲ要ス「此職權ハ——居住ト云フコトハドウ云フ目安ニ依ッテ定メル積リデアリマス」

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君） 是ハ今日各人ノ居住ニ付テハ、警察ノ取締ノ上カラ警察ノ方デサウ云フモノヲ取調ヘル方法ニナリテ居リマス、サウ云フヤウナモノヲ知り得ル機會ヲ得レバ、ソレヲ利用シテ職權ヲ以テ登錄スルト云フコトニナリマス

○法學博士鵜澤總明君 モウ少シ法律上ノ根據ヲ承リタイノデアリマス、例ハバ居住ト云フコトハ單ニ夜間宿泊スルト云フデケラ指スノデアルカ、或ハ或場合ニハ夜泊ルコトモアル、泊ラヌコトモアルケレドモ、事務ノ中心ト云フモノハ却テ他ノ方ニ持ッテ居ル、ソレデ朝カラ晩マデ其處ヲ事務ノ中心トシテ、一方カラ見ルト生活ノ中心ノヤウニ見ヘル場合ガアル、サウ云フモノハ宿泊スルト云フコトデケラ以テ居住トスルノデアルカ、或ハ宿泊ト云フコトヨリモ事務ノ中心トシテ、其人ノ生計ノ大體ニ於テ根據トナリテ居ルヤウナ場所ヲ指シテ寄留ト云フコトニスルノデアルカ、其點ヲ承リタイ

○政府委員（法學博士鈴木喜三郎君） 請リ生活ノ中心トシテ居ルヤウナ所ヲ以テ居住ノ場所ト云フノデアリマス、例ハバ大森ニ自分ガ住居ヲ持ッテ居ッテ、晝間ハ銀座ニ事務所ヲ設ケテ出勤シテ、夕方ニハ大森ニ歸ルト云フヤウナモノハ、寄留届ヲ爲サシムル

趣意アリマセヌ

○法學博士鵜澤總明君 サウスルト大森ノ方ヲ寄留地トスルト云フノデアリマスカ、或ハ銀座ノ方ヲ寄留地トスルトデアリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 若シ大森ガ本籍地デナケレバ、寄留地トシテ大森ニ届出テヲ爲サシムルト云フ趣意デアル

○法學博士鵜澤總明君 是ハ居住ト云フコトハヤハリ民法ノ住所主義ト云フモノヲ根據ニシテ、サウシテ住所ト云フコトノ解釋ニ依リテ御定メニナルト云フデアリマスカ、或ハ寄留法ニハ行政的ノ意味モアルノデアリテ、必ズシモ民法ノ生活ノ中心ト云フコトヲ必要トシナイ、ソレデ性質カラ言フト一種ノ或ハ行政ノ取締ノヤウナコトニモ關係ガアル、其他諸般ノ事柄ニモ關係ガアルカラシテ、職權ニ依リ必ズシモ民法ノ住所ト云フコトニ依ラヌデモ、之ヲ寄留者ト認メテ寄留簿ニ職權ヲ以テ記載スルト云フ趣旨ニナルデアリマスカ、實際上其疑ガ起ルノハ、本籍主義ヲ認メテ居ッテ、其次ニ近頃業務ガ頻繁ニナルニ從テ起テ來ルモノデアリマスカ、例ヘバ東京ノ銀座ニ本店ヲ持ッテ居ル、ソレカラ横濱ニ支店ヲ持ッテ居ル、是ハ市内ノ狀況カラ申スト、兩方ニ半月位ヅ、住ンテ居ルト云フヤウナ狀況デアッテ、ドチヲ以テ本據トシテ宜イカ分ラヌヤウナモノガ随分アルト思ヒマス、サウ云フ場合ニハドチヲ以テ居住ノ場所トスルデアルカ、民法ノ生活中心主義ニ依ルト、一方寄留ノ必要ハアルカモ知レヌガ、行政ノ取締ハ兩方ニ居ルコトニナッテ居ルカラ、兩方ノ寄留地ニシテモ、差支ナイト思フ、ソレ等ノ場合ニ於テハ此法律ガドレガ根據ニナッテ居ルカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 住所ト其身ヲ置ク所ト一致シテ居ル場合ニ於テハ疑ガ起ラナイガ、住所——民法ノ所謂住所ト云フモノト身ヲ置ク所ト違ッタ場合、例ヘバ東京ニ一家族ハ殘シテ置イテ、自分ハ業務上ノ都合カラ九十日以上大阪ノ旅館ニ泊ッテ居ル、或ハ大阪ヘ一軒ヲ借り、或ル用事ヲ辦ズル期間泊ッテ居ルトカ云フヤウナ場合デアリマスカ、住所ハ東京ニアルガ、其者ノ所謂居所ハ——居所ヨリモ少シ廣イ意味ニナルカモ知レセヌガ、マア居所デアル、居所ヲ九十日以上定メルト云フコトニナルカラ、其場合ニハ大阪ニ於テ寄留居ヲ爲サナケレバナラヌト云フコトニナル、故ニ居住ト書イタノハ必ズシモ住所ト云フ意味ニハ限ラナイデアリマス

○鵜澤總明君 今ノ御説明デチヨット伺ヒマスガ、吾々議員ガ召集ニ應ジテ東京ニ九十日居ラナケレバナラヌガ、九十日ガ終ルト直グ立ッテ歸ルト云フ場合ニ、ソレモヤハリ居ラシナケレバナラヌヤウナ御説明ノヤウデアリマスカ、ソコハドウ云フ風ニナリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 嚴格ニ法律ヲ適用スレバ、九十日以上ニナレバヤハリ居ケナケレバナラヌコトニナル譯デアル

○島田俊雄君 私モ一二點御尋シテ見タイ、第一ニ寄留ト云フコトハ、此制度ハ民法カラ直接ニ流レテ來テ居ル制度トモ見エマセヌヤウデアリマスカ、サウシテ滞在者ニ於テ即チ東京ナラ東京、大阪ナラ大阪ノ本籍ヲ離レテ或ル特定ノ場所ニ滞在シ、若クハ此法律ニ依リ寄留シテ居ル者ハ、警察ニ於テ其他必要ノ事柄ニ付テハソレソレノ取締ナリ監督ナリ總テノ方法ガアル、ソレカラ其者ノ身分ノ異動、戶籍上ノ事件ニ付テハ本籍ノ戶籍法ニ於テソレソレノ取扱ガ出來ル方法ガ立ッテ居ルヤウニ思ヒマスガ、此處ニ九十

日以上同一ノ場所ニ住居シテ居ル者ハ、寄留者トシテ待遇スルト云フコトノ——從來ノ法律ノ遣リ方ハ別トシテ、此制度ヲ此處ニ設ケルト云フ趣意ハドウ云フ所ニアルカ、ドウ云フ所ニ寄留制度ノ實際ノ適用上ノ價值ガアルカ、其點ヲ伺ヒタイ、第二ニ此處ニハ寄留ヲスル場合ノ九十日以上ト云フ最短期ノ示シガアル、是モ今ノ齋藤君ノ御質問ニ對スル答辯ニ依ルト、其間ガ繼續シテ居ルト云フ意味デ、切レテ居ル場合ハ無論寄留ニハナラヌコトニナッテ居ル、九十日以上繼續シタモノハ寄留者ト看做シテ居ルガ、最長期ハ定メテ居ナイ、從ッテ山口縣ナラ山口縣ニ本籍ノアル者ガ東京ニ寄留シテ死ヌルマデ居ッテ、本籍地ニ一遍モ行カヌ寄留者ガ出來テ來ル、サウ云フコトニ付テ最長期ヲ定メル必要ヲ御認ニハナラヌカ、サウ云フ風ニナルト寄留所ガ本籍ノヤウニナルノデ、左様ナ點カラ兩々相對シテ考ヘルト、寄留制度ノ根本ノ改正ヲ爲スガタメニト云フデアルガ、甚ダ疑ハシイヤウニ思ヒマス、此點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 寄留法制定ノ必要理由ト云フ御質問デアリマスカ、成程今日ニ於テ警察ノ方カラ致シテ一市一町村ニ居住シテ居ルトコロノ人口調査ノ途モアルヤウデアリマスカ、アレダケデアリマスカ身分關係等ノ詳細ノ事柄ヲ知ルコトハ出來マセヌ、ソレデアルカラシテ、ツマリ人ノ出入異動等ガ現在、其身ヲ寄セテ居ル市町村ニ於テ知ルコトガ出來ナイ、住所本籍主義ヲ採レバ其事ハアリマセヌケレドモ、既ニ住所本籍主義ヲ採ラヌ以上ハ、其身ガ現在アル所ノ市町村ニ於テ其者ノ身分關係ヲ其者ガ何處カラ出來テ居ルカ、所謂出入關係等ハヤハリ寄留本籍ヲ寄留帳簿ニ依ッテ見ルコトノ必要カラシテ、本案ヲ提出スルニ至ッテ次第デアリマス、而シテ九十日以上ト云フコトハ規定シテアルケレドモ、長期ノ規定ガナイカドウカト云フ仰セデアリマスカ、成程本籍ハ有名無實ニ終ッテ、寄留所ガ所謂根據トナッテ、諸般ノ關係ヲ律スルト云フヤウナコトニ付テハ、今日ノ狀態亦然リテコザイマス、ソレデアリマスカ終生寄留シテ居ル結果ヲ見ルコトモアリマスカ、別段長期ノ制限ヲ置ク必要ハナカラウト云フ考デアリマス

○政府委員(法學博士小山温君) チヨット一言附加ヘテ置キタイト思ヒマス、此案ヲ制定致シマスルマデニ、住所本籍主義ト住所無制限主義トノ争ガ大分アリマシタガ、提出ニナリマシタ戶籍法ハ無制限主義ニナッテ居ル、ソレデアリマスカ有形ノモノハ戶籍ニハ別ニアルモノハナイコトニナッテ居リマス、例ヘバ家屋ガ其處ニアラウガアルマイガ、構ハヌ、唯場所ヲ指定シテ戶籍ヲ其處ニ定メレバ戶籍ノ所在地トシテ、身ガ居ラウガ居ルマイガ一向無關係ニナッテ居リマス、之ハ從來ノ戶籍法ガサウデアリマス、所デ民法デハ生活ノ場所ヲ住所ト爲スト云フコトニナッテ居リマスカ、戶籍法ハ丸デ民法ノ延長ヲ見ルノトハ合ヒマセヌ、所ガ戶籍ハ先日來議論ノ出マシタ如ク、強チ民法ノ延長デアリマセヌカラ、從來ノ民法ヲ襲ウテ無制限主義ニ從ッタモノデアリマス

○島田俊雄君 唯今ノ御話ヲ承ハリマシテモ、ドウモ寄留法制定ノ趣意ガ能ク徹底致シマセヌガ、之ハツマリ戶籍制度ト云フモノニ附隨シテ必要ナリト云フ御考デアリマスカ、戶籍法制度ヲ一方ニ出シテ居ルカラ其補助トシテソレニ附加ヘテ寄留制度ヲ設ケル必要ガアルト云フ御趣意カラデアリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 唯今小山政府委員カラモ申上ケマシタ通

リ、戸籍法ハ戸籍ノ存在ヲ示ス法律アリマシテ、寄留法ハ所謂所在法ト云フテ宜カラウト思ヒマス、其身ノ在ル所ノ場所ニ於テ其身ノ關係ヲ帳簿ニ載セルト云フコトヲ趣意トスル法律デアリマス

○齋藤隆夫君 寄留籍ノ轉籍ニ付テチヨット伺ヒタイ、之ニ依ルト九十日以上本籍地外ニ於テ一定ノ場所ニ居住スル者ヲ寄留者トスルト云フコトニナツテ居リマスガ、假リニ私が今本籍地外ノ東京ニ寄留シテ居ル、即チ九十日一定ノ場所ニ居ルカラ寄留者トナル、今度芝罘ニ居ルノヲ麴町ナラ麴町ニ轉宅スル、サウスルト未ダ九十日ニナラヌ中ハ寄留者ト云フコトニハナラヌノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜二郎君) 九十日居ラヌケレバト云フコトハハナイノデス、九十日過去タラ届出ルト云フ意味ハゴザイマセヌ、テ九十日以上ニナラントスル望ヲ以テ轉寄留スルトキハ、ヤハリ轉寄留居ラヌケレバナラヌノデアリマス

○齋藤隆夫君 此法文ヲ見ルト九十日以上本籍地以外ニ於テ一定ノ場所ニ居住スル者ヲ寄留者トスルデアリマスカラ、九十日以上ノ者ハ寄留者デアツテ、九十日以下ノ者ハ寄留者デハナイノデスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 此文字ノ書方ガ或ハ趣意ヲ明カニシテ居ナイカモ知レマセヌガ、今日ニ於テモ大體九十日以上ニ及ブ者ハヤハリ寄留者トシテ届出ルコトヲ要スルコトニナツテ居リマス、ソレハドウ云フコトニナツテ居ルカト云フト、届出期間ハ十一日間ニサナケレバナラヌ、而シテ轉寄留ノ届出期間ハ第三條ニヨリ司法大臣ノ命令ヲ以テ然ルベク定メヤウト云フコトニナツテ居リマス、從ツテ届出期間モ凡ソ現行法ノ趣意ニ從ツテ十一日ト云フコトニ定メヤウ、ソコテ終身其處ニ住居スルカ、或ハ九十日以上其處ニ住居スルト云フヤウナコトハ、先ヅ本人ノ意思ニ基イテ定メナケレバナラヌ、ソレハ其意思ガアレバ十一日以内ニ届出ナケレバナラヌ、サウ云フ次第デアリマスカラ、九十日以上滞在スル者ハ要スルニ寄留者デアル、其寄留者トナル者ハ凡ソ十日マデニ届出ナケレバナラヌノデアリマス

○委員長(長島鷲太郎君) チヨット御相談シマスガ、今大臣ガ參ツテ居ラレマスカラ、大臣ニ質問ガアレナラ大臣ヘノ質問ヲ先ニシテ戴キタイ

○法學博士鵜澤總明君 私ハ此戸籍法ノ第四條ノ規定ニ付テ司法大臣ニ御尋シタイ、此四條ニハ職務ノ執行ニ付テ市町村長ガ届出人其他ノ者ニ損害ヲ與ヘル、其損害ガ市町村長ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生ジタル場合ニ限リテ之ヲ賠償スル責任ニ任ズ、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、此職務ノ執行ニ付キマシテ故意又ハ重大ナル過失ガアツテ、市町村長ガ他人ニ損害ヲ加ヘタル場合ニハ、其市町村長ガ賠償ノ責任ニ任ズト云フ規定ハ第四條ニ載セテアル、併ナガラ是ハ随分ムツカシイ重大ナ問題デアリマセウガ、元來市町村長ガ斯ノ如キ場合ニ於テ損害ヲ加ヘル所ノ事柄ハ、ヤハリ職務ノ執行ニ關聯ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、其事務カラ申シマスレバ、市町村長ガ個人ノ仕事ニ依ツテ損害ヲ加ヘルト云フコトデナイノデアリマスカラ、國家ガ其損害賠償ノ責任ヲ取ルト云フヤウナ趣旨ノ規定ヲ設ケラレルコトモ宜カラウト思ハル、議論モアルダラウト思フノデアリマス、ソコテ總テ此官吏トカ、或ハ自治團體カラ申シマスレバ公吏アルトカト云フヤウナモノ、廣ク損害賠償ノ責任ヲ國家ニ於テ持ツト云フ法律規定ヲ設ケルト云フヤウ

ナ御研究ヲ爲スツテ居ルノデアリマセウカ、或ハ既ニ其研究ハ濟ンデ、近キ將來ニ於テサウ云フ全體ノ法案ヲ出シテ見ヤウト云フ程度ニデモナツテ居ルノデアリマセウカ、先ヅ其邊ノ所ヲ一ツ伺ツテ見タイノデアリマス

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 私ハ唯今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマスニ先立チマシテ、皆サンニ御斷リヲ致シテ置カナケレバナラヌコトガアリマス、此戸籍法改正法律案ガ本會議ニ上リマシタ當時ニモ、生憎貴族院ノ方ノ會議ト抵觸致シマシタガ爲ニ、自ラ衆議院ノ方ニ出席ヲ致シテ説明ヲスルコトモ出來マセナシテ、引續イテ委員付託ニナリマシテ、皆サンガ屢、御苦勞ヲ下スツテ居ルニモ拘リマセズ、丁度不幸ニ貴族院ノ委員會ト抵觸ヲ致シマシタガ爲ニ、出席スルコトガ出來得ズシテ今日ニ立至リマシテ、甚ダ皆サンニ對シテ相濟マヌ次第デアリマシタガ、今述ベルヤウナ狀況デアツタノデアリマスラ、惡シカラズ御承知ヲ請ヒタイト思ヒマス、續イテ唯今ノ御質問ニ對シマシテ御答致シマス、此官吏賠償責任ノコトニ付キマシテハ、先般豫算委員會ノ總會ニ於キマシテ、長島サンヨリノ御質問モアリマシテ、大要其當時御答モ致シテ置キマシタガ、尙重ネテ茲ニ私ノ承知シテ居ル範圍ニ於テ御答シタイト思ヒマス、一體官吏ノ責任賠償ノコトハ、政府ニ於キマシテモ餘程以前カラ議論ガアツタコトデアリマシテ、私モ長イ間小役人ヲ致シテ居リマシテ、屢、之ヲ耳ニ致シタコトガアリマス、所ガ其當時ニハ是ハ申シテ宜イコトデアアルカドアルカハ知りマセヌケレドモ、實際ノコトヲ有體ニ御話シマスレバ、國ニハ過失ノナイモノデアルト云フヤウナ議論ガ大分アリマシテ、ソレハ官吏ガ自分ノ故意若クハ重大ナル過失ニ基イテ賠償スル時ハ格別、國トシテ賠償ノ責任ニ任ズベキモノデアナイト云フ論ガ勝ツ占メテ、サウシテ遂ニ官吏賠償責任ノコトニ付テハ何等ノ法律モ出來ズニ終ツテ居ツタト私ハ覺エテ居リマス、所ガ其以來ノ諸般ノ法律ニ就テ見マス、御承知ノ通り登記法ニ登記官吏ノ賠償責任ノコトガ規定シテアル、戸籍法ノ分ハ恐ラクハ登記法ニア、云フ規定ガアツタモノデアリマスカラ、ソレガ模範ニナツテ出來タノデアツテ、サウシテ此兩法律ノ官吏若クハ公吏ノ賠償責任ハ、申スマデモナク是ハ個人ノ責任デアツテ、國ノ責任ニナツテ居ラヌ、民法ノ損害賠償ノ責任ノ制限ヲ規定シテ置カレタモノデアルト私ハ解釋シテ居リマス、民法ノ損害賠償責任ニ付テ餘程廣イモノデアアルカラ、彼ノ廣イ範圍ニ於テ官吏若クハ公吏ガ責任ヲ持ツト云フコトハナカク、容易ナコトデナイ、ソコテ重大ナル過失ノアツタ時デナケレバ個人トシテ責任ヲ持タセルノハ不都合デアラウト云フコトカラ登記法ニモ重大ナル過失トアリ、又之ヲ模範トシタ戸籍法ニモ重大ナル過失ガアツタ時ト掲ケラレテ居ルノデ、全ク民法ノ規定ノ制限法トシテ斯ノ如キ規定ガ出來ルニ至ツタモノト私ハ信ジマス、ソレカラ國ノ賠償ノコトニ付キマシテハ、今チヨット記憶ヲ致シマセヌガ、確カ鐵道法トカ或ハ郵便法トカニ官吏ガ個人ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌコトガアルシ、又國ガ賠償ヲスルコトモアル、是等ノモノダケニ限ツテ規定シテアルヤウデアリマス、ソレハドウ云フ譯デ是等ノモノニ限ツテ此責任ノコトガ規定シテアルカト云フコトハ判然致シマセヌガ、恐ラクハ是ハ國ノ仕事トハ申スモノ、營業ニ屬スル事ダト云フヤウナ趣意カラ來テ居ルモノデアナイカト私ハ考ヘテ居リマス、然ルニ段々研究ヲシテ見マス、ドウモ營業ノ事ニシテモヤハリ國ガ責任ヲ持ツ、斯ウ言フ既ニ例ガ開ケテ居ルカラ、ズツト古ク行ハレテ居リマシタ國

第五類第二十六號 戸籍法改正法律案外三件委員會會議錄 第六回 大正三年三月四日 五三

ニハ過失ノナイモノデアルト云フ議論ハ、今日テハ私ハドウシテモ立タヌカ知ラヌト思ヒマス、ソレテ豫算總會ノ當時ニモ長島君ノ御尋ニ對シマシテ、或範圍ニ於テハ官吏賠償責任ノ規定ヲ必要ト認ムルト云フコトヲ自分ハ述ベテ置キマシタ、ソレテ其規定ヲ拵ヘルニ付テ調査ニ着手致シマシタコトハアリマスケレドモ、ナカノドウモ範圍ヲ定メマスニ付テ面倒デアリマシテ、又外國ノ法律ニモ参照トナルベキモノガ甚ダ少ナイヤウニ思ヒマス、或ハ皆サンノ中ニハ十分ニ材料ヲ御集メニナツテ居ル御方モアルカモ知レマセヌケレドモ、吾々ガ小役人ヲ致シテ居リマシタ當時ニ調ベマシタトコロテハ、ドウモ甚ダ據ルベキトコロガ少ナイ、確カ獨逸カ何カニ官吏賠償責任ノコトガ立テラレマシタモノガ一ツアツタカノヤウニ記憶致シテ居リマスケレドモ、其後ニナツテ諸外國テ或ハ新シイモノガ出來タカモ知リマセヌガ、チヨット私ハ覺エテ居リマセヌ、假令外國ニドウアラウトモ、私ハ或範圍ニ於テハドウシテモ官吏賠償責任ノコトヲ極メルノヲ至當ト思ヒマスノデ、ソレテ是迄マダ調査モ行居イテ居ラヌホソノ端緒ヲ曾テ調ベタコトガアリマスニ依ッテ、是ヨリ十分ニ調査ヲ遂ゲマシテ、サウシテ審議ヲ重ネテ議會ニ提出シテ御協賛ヲ仰グヤウナ運ビニ致シタイト斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス

○野村嘉六君 大臣ニ御尋ラヌルノデアリマスガ、唯今ノ御意見ニ依ルト何レ近クトハ仰シヤラナクカガ、免モ角賠償責任法ヲ定メルト云フコトデアリマスガ、若シソレガ大臣ノ御意見通りニ定メラレルトニナリマシタナラバ、此第四條ノ規定ヲ其時ニハ之ヲ削除ナサル御考デアアルカドデアアルカ、御尋ラシタイ

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 是ハ個人ノ責任ノ規定デアリマスノデ、今述ベマシタノハ官吏賠償責任、即チ國トシテ賠償ヲシナケレバナラヌ場合ニ付テノ規定ヲ主トシテ御話致シマシタノデ、個人ガ責任ヲ持チマスルコトニ付テ申上ゲタノデアリマス、是ハ公吏ガ個人ノ責任デ、例ヘハ是ガ國ノ事務デアリマスレバ、或ハ國ノ事務ニ付テ國ガ責任ヲ持タナケレバナラヌト云フコトハ、ソレハ定メナケレバナリマセヌ、個人ノ責任ニ付テハ別ニ私ハ合述ベタノデアリマセヌ

○野村嘉六君 尙ホ序デアリマスガ、サウシタナラバ國トシテ責任ヲ生ズル場合ガアルト云フ意味ニ於テ立法サレルト云フコトデアッタナラバ、此第四條ニ該當スルヤウナ場合ハ、一面カラ見タナラバヤハリ國ノ事務ヲ行フトコロノ市町村長ガ人民ニ損害ヲ加ヘルコトニナリマスカラ、理窟カラ言ヒマシタナラバ、ヤハリ國ノ事務ノ一部ヲ行フ意味ニ於テ損害ヲ加ヘルコトニナリマスカラシテ、從ツテ國トシテモ損害ヲ負擔シナケレバナラヌ、即チ大臣ノ言ハレル國ノ賠償ノ方ニ該當スルモノデアルト私ハ信ズル、サウスルト國トシテノ賠償責任ガアルシ、又個人トシテモ此法律ニ依ッテ賠償責任ガアルト云フコトノ結果ニナリハセヌカト云フコトヲ疑フ

○司法大臣(法學博士奥田義人君) ソレハ區別ヲ立テナケレバナラヌト考ヘマスノデ、本人ガ故意テ過失ヲ生ジマシタ時ニマデ、國ガ賠償ノ責任ヲ持ツト云フコトハドウモ出來マイト思ヒマス、職務ノ執行上ニ於テ圖ラズ過失ガアツテ、タメニ人ニ損害ヲ掛ケルニ至ツタト云フヤウナ時ニ於キマシテハ、國ガ賠償責任ヲ持チマスルガ、本人ガ惡意若クハ故意ニ依ッテ過失ヲナシマシテ、タメニ個人ニ損害ヲ掛ケルニ至ツタト云フヤウナトキハドウモ私ハ別デアツテ、此間ニ判然タル區別ヲ設ケナケレバナルマイカト自分ハ思ッテ居リマス

○野村嘉六君 其故意ノトキハソレデ分リマシタガ、此法文ニ依リマシテモ重大ナル過失ニ因リテ生ジタル場合ニ限リ……

○委員長(長島繁太郎君) 大臣ノ説明ハ、職務ノ執行上ニ於テ圖ラズ過失ニ依ッテ損害ヲ生ジタル場合ハ、ヤハリ職務カラ生ズルカラ、其場合ハ國ノ賠償ニスルカモ知レヌ、個人ガ故意ニ職務ノ執行ヲヤツタ場合ハイカヌト云フ説明ノヤウデス

○齋藤隆夫君 第四條ニ牽聯シテ私ハ司法大臣ノ意見ヲ承ツテ置キタイ、唯今御述ベニナリマシタコトデ能ク分リマシテ、國家及自治團體ニ損害賠償ノ責任ガアルカナイカト云フコトハ、法文上ニ於テモ亦實際上ニ於テモ隨分問題ニナツテ居リマシテ、私モ深ク調ベマセヌケレドモ、少シバカリ外國ノ例モ調ベテ見マシタガ、餘程此事ニ關スル理論及實際ノ經過ハ段々變化シテ參リマシテ、今日ニ於テハ國家及自治團體ト云フモノモ、ヤハリ不法行為ヲナス能力ノアルト云フ學說ニ傾イテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、其理窟ハ別ト致シマシテ、此四條ノ規定ヲ見マスルト、免モ角市町村長ハ其職務ノ執行ニ付テ他人ニ損害ヲ加ヘタト云フ場合ヲ豫想シテ規定シテ居ルノデゴザイマスカラシテ、職務執行ト云フコトハ、市町村長ガ自分ノ職權ヲ以テ、即チ自治團體ノ機關トシテ働ク其職務ノ執行デアリマスカラ、其執行ニ付テ損害ヲ加ヘタト云フコトハ、是ハ個人ノ行為デナクシテ、無論自治團體ノ機關タルトコロノ市町村長ノ行為デアリマスカラシテ、此公的性質ヲ持ッテ居ルトコロノ職務ノ執行ニ付テ損害ヲ第三者ニ加ヘタ場合ニ於テ、市町村長ガ個人トシテ責任ヲ負フテ、其本人タル自治團體ガ責任ヲ負ハヌト云フコトハ、私ハ理論ニ於テモドウシテモ説明ガシ難イト斯ウ思ヒマスノデ、又實際ノ上カラ考ヘマシテモ、市町村長ガ個人ノ責任トナリマシタナラバ、此責任ト云フモノハ甚ダ薄弱ニナツテ、被害者ノ權利ヲ保護スル途ハ全ク有名無實ニ了ルベキコトデアルト思フ、何トナラバ市町村長ガ個人ノ財産ヲ以テ損害賠償ノ義務ニ應ズルコトニナリマシタナラバ、市町村長ノ財産ノ高ニ依ッテ決スルモノノデ、到底此賠償ノ義務ヲ何處マデモ果スコトガ出來ヌト思ヒマスカラシテ、到底此規定ト云フモノハ實際ニ於テ餘リ効力ガ無カラウト思ヒマス

○委員長(長島繁太郎君) チヨット注意致シマスガ、法律ノ專門ニ涉ルコトハ大臣ハ一々何デアアルマイト思ヒマスカラ、場合ニ依ツタラ政府委員デモ……

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 私ノ解釋シテ居ルトコロダケヲ御答致シマス、此場合ニ依リマシテハ個人トシテ損害賠償ノ責任ニシテ、併セテ又國ガ損害賠償ノ責任ニシテナケレバナラヌコトモアラウト思ヒマス、又國ハ損害賠償ノ責任ニシテ、個人ノミガ損害賠償ノ責任ニシテナケレバナラヌコトモアラウト思ヒマス、假リニ第四條ガ國若クハ自治團體ガ損害賠償ノ責任ニシテナケレバナラヌト致シマシテモ、尙且執行者タルトコロノ市町村長自身ノ故意又ハ重大ノ過失ノアリマシタトキニハ、併セテ其賠償ノ責任ニシテ、斯ウ云フコトニナルデアラウト思フ、私ノ先刻述ベマシタトコロハ、先刻ハ主トシテ御尋ガ官吏ノ賠償責任ノコトニ付テノ御尋デアリマシタカラ、官吏ダケヲコトニ付テ説明ヲシタデアリマスケレドモ、公吏ノ場合デモ同様デアラウト思ヒマス、自治團體自身ガ損害賠償ノ責任ニシテナケレバナラヌトキデアツテモ、尙其實行ヲ爲シタ本人ガ惡意ノアリマシタヤウナトキニハ、併セテ損害賠償ノ責任ニシテブルコトガ起ツテ來ハシマイカト自分ハ解釋致シマスルガ、如何デアリマスカ

○委員長(長島鷲太郎君) 政府委員二伺テ置キタイノハ、一體此事務ハ市町村長  
ガ託セラルル事務デアリマス、或ハ市町村ノ團體ガ託セラルル事務デアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 市町村制等ニモアリマスル通り、法律其  
他ノ命令ニ依テ市町村ハ國ノ事務ヲ取扱フコトガ出來ル、ソレハ此戶籍事務ガ國家ノ  
事務ト致シマスレバ、ヤハリ國家事務ヲ市町村長ガ取扱フコトニナラウト思ヒマス、ソレデ  
アリマスカラ責任問題ト致シマシテハ、市町村ナル團體ガ責任ヲ負擔スルカ、

○齋藤隆夫君 町村制ノ條文ハ、自治團體ハ關係ゴザイマセヌ、國家ノ事務デアリ  
マスルカラ市町村長ガ取扱フノゴザイマスガ、事件ノ性質ガ國家ノ事務デアリマスルカ  
ラシテ、私ノ考ヲ以テ申シマスレバ、國ガ官吏公吏ノ爲シタル不法行為ノ責任ニ任ズル  
コトニナル法律ガ出來ルナラバ、ヤハリ國家ガ負擔セバナリマセヌ

○司法大臣(法學博士奧田義人君) 市制ニモアル管テ、國ノ事務ヲ市町村ガ行フコ  
トニナルデアラウト思ヒマス、先刻ハ唯一般ノ公共團體ノコトノ御尋ノヤウデアリマシタカ  
ラ此事ニ付テ申シマシタガ、町村制ハ七十七條テ、市制ニモ簡條ハ違ヒマスガアリマス

○島田俊雄君 私共ガ此委員會ニ大臣ノ出席セラレコトヲ希望致シマシタ次第ハ、  
固ヨリ今ノヤウナ質問モアリマスガ、此改正法ノ全體ニ付テノ根本ト云ヒマスガ全體ニ  
關スル説明ヲ聽クコトヲ得タイト云フ意味デアッタアリマスガ、唯今部分的ノ質問ガ段  
段出マシタカラ、申後レタ感ガアリマスケレドモ、私ハ先達以來此法律ノ根本ニ付テ御  
聽キシタイ點ヲ尙疑義ノ存スルトコロヲ御説明ヲ願フテ置キタイト思フ、此戶籍法ノ全體  
ヲ通ジテ一番主タル眼目ハ、即チ現行法ニ對シテ身分登記簿ヲ廢スルト云フコトデア  
ル、現行法ハ施行セラレテマダ十四五年シカナラヌ、其現行法ノ骨子トナテ居ルコロノ身  
分登記簿ヲ改正法ニ於テ廢スルト云フコトニナツタ、サウシテ身分登記簿ニ記載シテ居  
タ其働ヲ戶籍簿ヲ兼シメルト云フノガ即チ此改正法律案ノ趣意デアリマス、此點ニ付  
テ一ツ司法大臣トシテ御考ヲ明瞭ニ述ベテ置キタイト思フ、ソレハ御承知ノ如  
ク身分ノ關係ハ個人的ノ關係デアル、戶籍ノ家ノ制度カラ來ルモノデアリマスルカラ、身  
分關係ト戶籍關係ト云フモノハ似テ居ルモノデアルケレドモ、全然違フコロノ性質デア  
ル、即チ身分ハ個人主義ノモノデアルカラ、個人主義一人々々ヤツテ居ル、此現行登  
記簿ハサウナツテ居ル次第デアリマス、而シテ我國ノ現行戶籍法ノ制定ト云フコトハ、先  
般私ノ質問ニ對シテ其時御出席ノ政府委員ノ御答デアハ、現行戶籍法ハ民法ノ出來タ  
時ノ一夜造リデアッタカラト云フ説明ガゴザイマシタガ、一夜造リデアリマシテモ、二夜造  
リデアツテモ、研究シタモノデアリマシテモ、兎ニ角現行ノ民法ヲ施行スルニ方ツテ、サウシ  
テ戶籍事務ト云フモノヲヤルニ付テ、一方ニ於テ身分登記ノ仕事ト云フモノガドウシテモ  
必要デアルト云フコトカラ出來テ居ルニ相違ナイ、サウシテ現行法ノ出來タ當時ニ於テ  
ハ、法案ヲ起草シテ又提出シテ説明シタコロノ政府委員ハ、隨分身分登記簿ノ效能  
ニ付テ喋々述ベラレタト云フコトハ仄々聞イテ覺ヘテ居ル、其モノガ實施後ニ於テ不都合  
ガ出來タ、有名無實デアル、效力ガナイカラト云フテ改メルニ付テハ、餘程重大ナル理由  
ガナケレバナラヌ、ノミナラス我國ノ家族制度ト云フモノハ、政府ノ人々ガ希望セラレ、又  
現行民法ガ期待シテ居ル如ク、完全ニ家ノ制度ガ行ハレルコトノムツカシイト云フコトハ、

經濟社會ノ實際ノ狀態カラドウモサウ云フ傾向ヲ持ツテ居ル、此家ノ制度ノ崩レトス  
ルモノヲ挽回シ、家ノ制度ヲ完全ニシ、家族制度ヲ泰山ノ安キニ置クコトハ希望スルコト  
デアルケレドモ、實際左様ニ付テハソレニ對應スルコロノ方法ヲ考ヘナケレバナラ  
ヌ、ソレハ即チ身分登記ノ制度デアル、ソレ故ニ私ノ疑問トシテ居ルコロハ、民法制定  
當時ニ於テ身分登記簿ノ必要ガアツテ拵ヘタ制度デアルカラ、今日ハソレカラ段々家ノ制  
度ガ崩レテ、一方ニ於テ個人主義ガ餘程加味セラレテ居ル時代ニ於テハ、尙更身分登  
記ノ必要ト云フ理由ガ出テ來ネバナラヌニ拘ラズ、此ニ之ヲ廢シテ戶籍簿ニ兼サセルト  
云フニ付テハ、尙更強イ理由ガナケレバナラヌ、現在ニ於テハ身分登記ノ制度ハ勞多ク  
シテ效少ナク、又費用ガ多ク登記簿モ多クナツテ保存ニモ困ルト云フコトハ多クアルデア  
リマセウガ、併ナガラ之ヲ改正シテ之ヲ救済スル意味ヲ以テ現行法ヲ改正スルナラバ、身  
分登記簿ヲ存在シツ、改正スルコトガ出來ハセヌカト思フ、ソレ等ノ點モ能ク御考ヘニ  
ナツタゴザイマセウガ、サウシテ此ノ如ク今日改正シタモノヲ將來ノコトヲ言フ必要  
ハナイヤウデアルケレドモ、過去ノ實蹟ニ徴スルト、十年位ヤツテ見テドウモ効ガナイトカ費用  
ガ多イトカ言ツテ、引クリ反ツテシマウ傾向デアレバ、此傾向ヲ以テ又十年モヤツタ上テ、更  
ニ身分登記ヲ廢シタケレドモドウモ置カネバナラヌ必要ガアルト云フテ、再ビ設ケルト云  
フコトガアリハセヌカ、尤モ是ニ付テハ現行ノ民法ノ親族編ガ改正ニナラナイ限ハ此法律  
ヲ押通ス御考デアルカラ、此改正ヲ以テ十分アルト云フ明言ハゴザイマシタケレドモ、ソレ  
等ニ付テ吾々ハ根本ニ於テ深イ疑問ヲ持ツテ居ルカラ、是ニ付テ司法大臣トシテ又個人  
トシテ法律ノ大家トシテ、殊ニ親族編ノ大家トシテ御考ヲ述ベラレテ、吾々ニ安心シテ  
贊成スルコトノ出來ルヤウニシテ頂キタイ、ソレト同様ノ意味ヲ寄留法ニ付テ先程チヨツト  
質問シテ置キマシタガ、寄留制度ノ根本ノ必要ハ、戶籍制度ニ對シテノ位ノ價值ノア  
ルモノカト云フコトモ附加ヘテ御説明下サレタナラバ、私ノ大臣ノ御出席ヲ希望シタル目  
的ハ満足致ス次第デアリマス

○司法大臣(法學博士奧田義人君) 御答致シマス、政府委員ハ何ト御答ヲ致シタ  
カ私ハ不幸ニシテ未ダ承知ヲ致シマセヌケレドモ、現行ノ戶籍法ハ、決シテ一夜作りノ法  
律ハナイト考ヘテ居リマス、司法省ニ於キマシテモ原案ヲ作ルトキハ餘程審議ヲ重ネ、  
併セテ又相當ノ機關ニ依テ以テ審議モ致シタ法律案デアツテ、ソレハ取調ガ行届カナ  
カッタトカ何ト云フヤウナコトハナイトハ言ヘマセヌケレドモ、決シテ一夜作りノ案ト云フ  
コトハ私ハ認メマセヌ、然ラバ何故ニ是迄身分登記ト戶籍ノコト、別々ニナツテ居タカ  
ト云フコトハ、是ハ私モ丁度現行ノ戶籍法ノ出來マストキニ、其委員ノ一人デ居リマシ  
タニモ拘ハリマセズ、其當時ノコトハハッキリ記憶ハ致シテ居リマセヌケレドモ、私ノ察スル  
トコロニ依リマスト云フト、個人制度ノ歐羅巴ノ觀念ト、ソレカラ家族制度ヲ基礎トシ  
テ居ル日本ノ觀念ト、兩方混淆シタ法律デアラウト信ジマス、御承知ノ通り歐羅巴ニ於  
キマシテハ戶籍ト云フモノハ必要ガナイ、身分ダケニ付テ見サヘスレバソレテ居ル、恰  
モ丁度家ノ本籍ト云フモノニ付テ何等必要タクシテ、住所サヘ見レバ宜シイ「ドミシル」サ  
ヘ見レバ宜シイト云フノト同ジテ、我國ノ民法ニモ殆ド總テノ基本ガ住所ニ取ツデアリマ  
スノハ、即チ是ハ歐羅巴ノ觀念カラ來タデアリマス、家ノ本籍ニ付テ法令上必要ナモ  
ノハ、私ノ記憶シテ居ルコロテハ徵兵令ハカリデナイカ、其以外ニハナイト云フヤウナ譯

第五類第二十六號 戶籍法改正法律案外三件委員會會議錄 第六回 大正三年三月四日

五五

デア、又民法ノ規定ト云フヤウナモノモ、ドウモ個人制度ノ歐羅巴ノ觀念ト、ソレカラ家族制度ヲ基礎トシテ居ル我國ノ觀念ト餘程混淆ヲシテ居ル、他日はハドウシテモ改メナイト主義ガ貫徹シテ居ラヌト常ニ私ハ思フテ居ル、戶籍法編製ノトキモサウデアッタラウト思ヒマス、一ツニ纏メラレ、レバ我國ノ戶籍ガ家ノ籍ガアル以上ハ、一ツニ纏メテシマッタラ宜カラウト私ハ思ヒマス、ソレガ半ハ歐羅巴ノ個人制度ノ觀念ガ這入ッテ來テ、身分登記ニ付テハ別ニシテ置クベキモノト云フ理論論カラ、斯ノ如キ制度ガ出來ルニ至ッタデアラウト思フ、サウシテ之ヲ譬ヘテ見マスト云フト、現ニ一方ニ戶籍ト云フモノガアル以上ハ、其戶籍ノ中ニ身分ノコトモ登記ヲシテ一向差支ナイ、ソレハ能ク初メニ考ヘテ見タナラバ、殆ド分テ居ルコトデアアルノスケレドモ、是等ノ法律ヲモ議シマストキハ、ナカノ内輪ヲ御話シマス議論ガアツテ、實ハ民法ノ親族編ナドヲ議シマストキモ、戶主ヲ廢シテシマウガ宜イト云フ議論ガアツテ位ノ次第デ、ソレ故ニ兎角思想ノ衝突デ斯ウ云フヤウナモノガ出來タデアラウト私ハ察シマス、今其當時ノコトハ能ク記憶致シマス、唯今述ベマス如クニ實際行テ見ルト云フト、身分ノ登記ノコトハ即チ戶籍ノ中ニ合セテ登記シテ宜シ、殊ニ今日ノ實際ヲ見マスノニ、殆ド大部分戶籍ノ中ニ在ル、重複シテ居ルモノガ多イ、例ヘバ後見人ノコトデアアルト云フモノハ、純粹ノ身分登記ニシテ戶籍ノ中ニアリマセヌカラ、ソレナモノヘ以テ住ッテ合セテ編製シテマヘバ宜シノデアリマシテ、ソレガ今日ハ皆氣付イテ來タ、重複ノ規定モアル、全ク思想ノ衝突ヨリシテ斯ウ云フ二ツノ重複シテ制度ガ立テラレタデアアルト云フコトニ氣付イテ來タ、氣付イテ來タ以上ハ、之ヲ改正ヲシテサウシテ戶籍制度ガケニシテシマッタラ、一面ニ於テハ手數ヲ省キ、他面ニ於テハ費用ノ節減スル、斯ウ云フコトニ致スノヲ必要ト認メテ此案ヲ提出ヲ致シマシ次第デアツテ、如何ニモ其邊ハ、粗漏ハ粗漏デアツタデアリマスケレドモ、是ハ其時代ノ又風潮ト云フモノガ随分アルモノデアリマスカラ、已ムヲ得ナカッタコトデアアルト私ハ信ジマス、大體申述ベテ置キマス

○熊谷直太君 私モ極ク大キイトコロヲチヨット御聞キシテ置キタイノデアリマス、現行ノ戶籍法竝ニ改正法律案モ、唯今司法次官カラ説明セラレタ通りニ、本籍主義ニ付キマシテ無制限主義ヲ執ラレテ、民法ノ住所主義ヲ御執リニナラヌデアアル、自分等ノ考ヘルトコロニ依ルト、一體民法ニ於テアノ通り住所主義ヲハッキリ極メタ以上ハ、此戶籍法ニ於テモ政府委員ノ言ハル、無制限本籍主義、或ハ私ガ解釋スル意思主義ト云フモノデ、其主義ニ依レバ住所主義ニ依ルガ宜カラウト自分ハ考ヘル、然ルニ戶籍法ノ改正法律案ニ於テハ依然トシテ無制限本籍主義ヲ執ラレテ居リマスノハ、是ハ法理ノ上カラシテ無制限主義ト云フモノガドウシテモ宜シト云フ御意見ニ依ルモノデアリマセウカ、或ハ追テハ改正スルガ、併シ先ヅ無制限主義ニ依ッテ本籍主義ニ依ッテモ差支ナイ、今迄ノ慣例モサウナッテ居ルカラ、之ニ依ッテ宜シノミナラズ、民法ノ住所主義ノ本籍主義ヲ改メル以上ハ、非常ニ手數費用ガ掛ルト云フコトカラ出サレタモノデアリマセウカ、其邊ハドウデアリマセウカ、將來民法ノ住所主義ヲ本籍主義トスル御意見ナキヤ否ヤ、其邊ヲ御尋致シマス

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 御答ヲ致シマスガ、ソレハ民法ニ定メテ居リマストコロノ住所ヲ以テ直チニ家ノ本籍トスルト云フコトニ定メテ置ケラレヌコトハナカラウト

考ヘマスケレドモ、我國ニハ家族制度ガ數千年以來行レテ居リマシテ、家ノ本籍ト云フモノハ實ハ今日ノトコロニ甚ダ場合ニ依リマス不便ナコトノヤウニ考ヘマスガ、此本籍ヲ變更シテ住所ヲ以テ本籍トスルコトニ立テマスノハ、ナカノ今日ノ實際國民ノ思想ニ副フコトガ出來ヌト私ハ思ヒマス、例ヘテ見マス、私ハ鳥取縣ノ田舎ノ生レ者デアリマスガ、而シテ郷里ニ何カ根據トスルトコロノ家ナリ田地ナリ所有シテ居ルカト申シマスレバ、何モ持ッテ居リマセヌ、又住所タル東京ニ何カ持ッテ居ルカト申シマスレバ、是モ固ヨリアリマセヌ、何方ニモナイノデアリマスケレドモ、兎ニ角住所ハ東京ニ在ッテ、而シテ本籍ハ依然トシテ郷里ニ在リマス、其本籍ヲドウツ東京ニ移シテ住所ト同一ニシタイト自分ハ考ヘテ居ルト云フノハ、戶籍上ニ付テ隨分手數ガアリマスカラ、ドウカサウシタイト思ヒマスケレドモ、ナカノ親戚友達ガ之ヲ許シテ與レマセヌ、サウ云フヤウナ譯テ國民一般ノ觀念ト云フモノハナカノ今日ノ内輪ヲ御話シマス議論ガアツテ、我國ノ尊重スベキ風俗デアラウ、物質的ニ考ヘマスレバサウデアリマスガ、一體ノ人情風俗ノ上カラ觀察シテ見マス、ヤハリ斯ノ如キ慣習ガアツテ、國民ガ此氣風ヲ離レザルハ捨ツベキコトデハナイト自分ハ考ヘテ居リマスカラ、依然トシテヤハリ不便ナルニモ拘ハラズ舊來ノ變則ヲ以テ茲ニ至ッテ居ル譯デアリマス、ソレ故ニ本籍ト住所ト云フモノハ別々ニ見テ置クノガ至當ト思ヒマス

○島田俊雄君 私ハ特ニ大臣ニ説明ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、昨日デアリマシタカ、此委員會デ何方カラカ御話ガ出マシタガ、華族ノ襲爵ノコトデ、是ハ華族令ノ解釋ニ關スル事柄デゴザイマスガ、ソレニ付テ政府委員ノ方ノマダ十分ナル御答ヲ得テ居リマセヌガ、私共ノ考ヘテ居ル所ト少シ違フヤウニ聽取リマシタノデ、尙確カメテ置キタイト思ヒマスガ、即チ戶籍法改正案ノ百五十五條ニ「爵ヲ襲キタル者ハ辭令書ヲ交付ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ其贖本ヲ添附シ其旨ヲ届出ヅルコトヲ要ス」トアリマシテ、華族令ヲ見マス、華族令ノ當主ガ亡クナッテカラ六箇月以内ニ家督相續ノ届出ヲスルト云フヤウナコトデ、襲爵ノ辭令ハ大分遅クナッテ貫フコトニナッテ居リマスガ、當主ガ死亡シテ襲爵ノ辭令ヲ貫フマデノ間、ソレマデニ戶主ガ居ラヌ、戶主ハ實際居ルケレドモ爵ガ定マラナイ間、此期間ニ於テハ之ヲ華族ト見ルカ見ナイカト云フコトニ付テノ見解デアリマス、華族令ノ第一條ニハ「有爵者ヲ華族トス」ニ云々アリマシテ、第二條ニ爵ハ公侯伯子男トナッテ居リマスカラ、此點カラ正面ニ解釋致シマス、無爵ノ華族ト云フモノハ無イ譯デアリマス、無爵ノ華族ハ無イト云フコトニ致シマスレバ、此百五十五條ニ依リマシテ辭令書ヲ貫フ以前ノ華族ト云フモノハ華族デナイト云フコトニナリマス

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 御答致シマス、私ノ記憶スル所ニ依リマス、確カ辭令ハ其前ニ溯ッテ效力ヲ有スルト云フコトガ書イテアルト思ヒマス、是ハ斯ウ云フコトカラ主ニ來テ居ルト信ジテ居リマスガ、胎兒ノ場合、既ニ生レタルモノト看做スト云フコトガ民法ノ相續ニ付テ規定シテアリマス、所ガ有爵者ガ死亡ヲ致シ、其有爵者ノ夫ハ人ガ懷妊中デアアル、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ、ドウシテモ其胎兒ガ生レテカラデナケレバ確定シナイ、若シ死體デ生レルトカ或ハ女子デアツタ時ハ、爵ハ當然無クナッテシマウデアリマス、又生キテ生レテモ男子デアリマスレバ、ヤハリ最初カラ爵ヲ有ッテ居タモノニ

シテ、華族デアッタモノニシテ相續フサセマス、從ッテ爵モ襲ガセル、斯ウ云フ趣意カラソレ  
ガ出來テ居ルノデ、一例デアリマスケレドモ、其辭令ハ遅レルコトハアリマスガ、其效力サ  
ヘ既往ニ溯ッテ生ズルモノデアルト云フコトヲ極メテ置キサヘスレバソレデ宜イト云フ趣意  
デ、華族令ガ出來テ居ルト覺ヘテ居リマス

○島田俊雄君 其事柄ガ襲爵ノ辭令ヲ貫フ以前、當主ガ死亡シテ襲爵ノ辭令ヲ貫  
フ以前ノ華族ハ、華族ト云フカドウカト云フコトノ解釋ガ定マリマセト、此第十八條ニ  
「戶籍ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス」トアツテ、其二項ニ「戶主カ華族又ハ士族ナ  
ルトキハ其族稱」トアル、此族稱ノ記載ハドウ云フ風ニ致シマスカ

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 御答致シマス、ソレハ今御話申シマス通り後ト  
デナケレバ定マリマセガ、華族トシテ置カケレバ生レナイ中ハ定マリマセガ、一家ノ家  
族ノ方ハヤハリ華族ノ名稱ヲ受ケルコトニナツテ居リマスカラ、是トモ場合ニ依リマスト  
華族タル族稱ヲ付セラレヌト一家ノ内華族デナイ者ガ生ズルノデアリマス、要スルニ今ノ  
御問ノ場合ハ胎兒ノ例ニ付テ申シマセバ、生レテカラデナケレバ確定ハ致シマセガ、胎  
内ニアル中デモ華族ト云フヨリ外ハ致方ガナイと思ヒマス

○島田俊雄君 サウスルト司法大臣ノ御解釋ハ吾々ノ解釋ト同ジテ、當主ガマダ襲爵  
ノ辭令ヲ受ケヌデモ、其間ヤハリ華族デアル、華族デモナシ士族デモナシ平民デナイト云  
フヤウナコトハ無イト云フヤウニ承知シテ宜シノデアリマスカ

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 其通りと思ヒマス

○野村嘉六君 大體ニ付テ説明ヲ願ヒマスガ、今度ノ戶籍法ニ於テハ族稱ニ付テ平  
民ト云フコトハ記載サレヌト云フコトデ、其説明ハ政府委員カラ伺ッテ居リマスガ、是ハ  
ドウ云フ御考デアリマセウカ、憲法ノ第十五條ニ「天皇ハ爵位勳章及其他ノ榮典ヲ授  
與ス」トアツテ、士族ノ如キハ其他ノ榮典ヲ授與スルニ於テハ身分關係デアッタ  
ナラバ、其身分關係ノアル人々ケテ記載スレバ、族稱ノ肩書ニスレバ宜イ譯デアリマス  
ガ、今日ノ士族ト云フ族稱ハ敢テ榮典ノ關係モナサウデアリマス、ナゼナレバ古イ時分  
デアッタナラバ惡イ事ヲスレバ士族ノ族稱ヲ剝ガレルト云フコトガアリマシタガ、今日デハ惡  
イコトヲシテモ剝ゴトハ出來マセヌ、惡イ事ヲシナイ士族ト云フテモ別ニ榮典ヲ授與セラ  
レルト云フコトハナササウニ考ヘマス、サウスレバ論理上士族ガ宜イカ平民ガ宜イカト云フ  
コトハ、榮典ト云フ方ノ側カラ見マシタナラバ、ドチラガ宜イト云フコトモ理論上言フコト  
ガ出來ナイ、單ニ習慣上カラ云フタナラバ免モ角モ平民ノ上ニ士族ガ立ツラシク感シマス  
ガ、ソレハ慣習論デ、立法論カラ見マシタナラバ榮典ト云フコトニナラナケレバ、同一ノモノト  
見ナケレバナラヌ、華族ハ確カニ特殊ノ待遇ガアツテ、榮典ヲ授與サレテ居ルモノト思ヒマ  
スガ、士族ニ付テハ規定ガナイ所ヲ見マスト、ヤハリ平民士族華族ト族稱ニ記載スルノ  
順序デアリハセヌカト思ヒマス、殊更ニ榮典ヲ有ッテ居ル者ハ記載シテ宜イガ、榮典ヲ有ッ  
テ居ラヌトシタナラバ、所謂平民ナリ士族ナリ華族ナリヲ舊來通りニスル方ガ善サ、ウデ  
ゴザイマス、併ナガラ手數ガカ、ルト云フノデアレバソレハ別論デアリマスガ——餘リ手數  
モカ、ラヌト思ヒマス、又舊慣ヲ存シテ置クト云フコトハ非常ニ宜イコトデゴザイマス、殊  
ニ司法大臣ノ家族制度ヲ維持セラル、ト云フコトデアリマスガ、吾々モ家族制度ヲ維持  
シタイ考デ、個人主義ハ大嫌デアリマス、日本ノ國體カラ申シテモソレガ宜イト感シマス

カラ、司法大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 私ハ此戶籍法ハドウナツテ居リマスカ覺ヘテ居  
リマセヌケレドモ、私ノ考フル處デハ平民ハ族稱デナイト考ヘテ居リマス、華族士族デナイ  
モノハ族稱デナイ、唯ハ一般ノ稱ヘ平民ト云フノハ——族稱ト云ヘバ華族士族ダケ  
ダラウト思ヒマス、而シテ士族ノ族稱ハハ御承知ノ如ク今日ノ處デハ何等ノ特權モナ  
シ、決シテ今日ノ制度上ニ於ケル榮典デハナイ、全ク歴史ニ存シテ居ル族稱デアツテ、ソ  
レガ全然尙ホ廢シテ仕舞フコトニナラヌノデアリマシテ、サウシテ國民ノ觀念ノ上カラ族稱  
トシテ用イラレテ居ルニ過ギヌト私ハ解釋シテ居リマス

○加瀬禮逸君 私ハ過日政府委員ニ御尋致シタコトニ付テ幸ニ司法大臣ガ御出デ、  
アリマスカラ、此際大臣ニ御確メヲシテ置キタイと思ヒマス、開ク處ニ依レバ臺灣ニ於キ  
マシテハ未ダ戶籍制度ノ設ガアリマセヌデ、僅カニ巡查ノ戶口調査ニ依ッテ家並ニ人ノ  
異同ヲ知り得ルダケニ止ッテ居リマシテ、日本人ニシテ臺灣人ト結婚スル者ガアツテモ、事  
實上ノ結婚ニ止ッテ、法律上ニ於テハ夫婦タル登錄ヲナシ得ヌト云フヤウナ何カ此間分  
ラヌモノガアル、サウシテ其間ニ生レタル子供モヤハリ子トシテ登錄スルコトガ出來マセヌ、  
子タルノ身分並ニ之ニ伴フ利益ノ取得モ出來ヌト云フヤウニ聞イテ居リマス、何ダカ其場  
合ニ於テハ一家ヲ組織セシメ得ルダケニ過ギヌノデゴザイマスガ、臺灣モ已ニ我統治ノ下  
ニ歸シテカラ一十有餘年デアリマスカラ、臺灣人ト結婚シタ者モアリマス、中ニハ丁年以  
上ニ達シタ子供ノアル者モアリマス、何人ノ子カモ公文書ニ依ッテ之ヲ證明スル道モナ  
ク、殆ド無籍人ニ近イヤウナ待遇ヲ受ケツ、アルヤウニ聞イテ居リマス、果シテサウデアリ  
マスレバ、如何ニ臺灣ニ行ッテ子ヲ舉ゲタノダカラ仕方ガアルマイト云フテ放任モ出來ヌト  
思ヒマス、幸ニ今日ハ民政長官モ居リマスカラ、今臺灣ニ於テハドナ風ニ戶籍ニ關シ  
テ取扱ナシツ、アルカ、又戶籍ガナケレバドウ云フコトヲ致シテ居リマスカ、御説明ヲ得  
イ、又左様ノモノモナイナラバ司法省ニ於キマシテハ今般此戶籍法ノ大改正ヲナサル  
際デアリマスカラ、臺灣ノ人民ニ對シテモ此組織ニ類シタヤウナ取扱ヲシテ、統一ヲ期セ  
ラル、ト云フ思召ハゴザイマセヌカ

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 臺灣ニ於ケル處ノ戶籍ニ關シテ、今日ノ實際  
ノ詳細ナルコトハ、必ズ此所ニ居ラレマス民政長官ヨリ御答ニナルコト、考ヘマスガ、私ノ  
承ッテ居ル處ニ依リマスト云フコト、臺灣ニモ戶籍法ヲ實施シタイト云フ考ガ當局者ニ始  
終アツタヤウニ承ッテ居リマス、唯是迄ノ戶籍デハ一方ニハ身分登記ガアツテ、ナカノ複  
雜デアリマスカラ、爲メニ費用モカ、リ手數モ掛ル、ソレドウモ實際ニ行フコトノ困難ヲ  
感シテ、此身分登記ガ戶籍ダケニ付テハ大體此戶籍法ヲ實施シテ差支ナイ状態ニアル  
ヤウニ私ハ承ッテ居リマス、ソレ故ニ私ガ承ッテ居リマス處ニ問違ガナケレバ、恰度唯今御  
希望ニナツタ如ク戶籍ノコトハ統一ガナラウト私ハ思ヒマス、尙ホ詳細ノコトハ内田民政  
長官カラ申上ゲマス

○政府委員(内田嘉吉君) 戶籍ノ關係ニ付テ御尋デゴザイマシタカラ御答致シマス、  
臺灣ニ於キマシテハ唯今加瀬君ノ仰セニナリマシタ通り、戶籍ハ實施シテゴザイマセヌ、  
之ニ代フルニ戶口制度ヲ實施シテ居リマスガ、是ハ從來内地ニ施行致シマシタル戶籍  
法、即チ戶籍並ニ身分登記トハ餘程趣ヲ異ニシタモノデゴザイマシテ、所謂戶口ノ實際

ノ狀況ヲ調査シテ、警察ニ於テ取り纏メテ居ル次第デゴザイマス、唯今仰セノ通り結婚其他ノ場合ニ於テハ極メテ取扱上不便ヲ感シマスルノデアリマスガ、幸ニシテサウ云フモノガ多ク出マセヌカメニ、實地ニ付テノ差支ハ生ジテ居リマセヌカ、長ク此狀態ニ置クモ如何ト考ヘマシテ、司法當局トモ打合セテ相當ノ規定ヲ制定シタイト云フ考アリマシテ、先キ頭モ少クトモ婚姻ノ點ニ付テハ内地ト共通ノ關係ニ致シタイト云フノデ、當局ニ於テハ法律案ノ取調ヲヤリツ、アリマスガ、恰モ此草案ノ編成セラレテ居ル際デアルカラ、此戶籍法制定後ニ於テ新タニ協定ヲ致シタイト思フテ居リマス、臺灣ニ於キマシテハ出來ルダケ戸籍ニ關スル規定ヲ實施スルコトヲ希望シテ居リマス

○委員長(長島鷲太郎君) 朝鮮ノ方モ合セテ伺ヒマス

○政府委員(荒井賢太郎君) 朝鮮ニ於キマシテハ、朝鮮人ニ對シテハ朝鮮ノ舊韓國政府ニ於キマシテ民籍法ト云フヲ發布致シマシタ、民籍法ト申シマスルノハ内地ノ戸籍法トハ違ヒマスガ、稍ヤツレニ類シテ居リマス、結婚出生養子縁組等悉ク届出ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、朝鮮人ニ對シテハ民籍法デ、唯今ハ民籍ノ事ヲ登記ヲシテ居リマス、併ナガラ朝鮮ニ在留致シマスル所ノ内地人ハ、無論朝鮮ニ本籍ガ持ツテナイノデゴザイマスカラ、是ハ居留届ト云フコトニシテ居留ニナツテ居リマス、ソレテ朝鮮人ノ方ノ民籍法ト、内地ニ於ケル戸籍法トハ、共ニ何等ノ關係ガナイ、各、獨立シテ居ルト云フヤウナ關係ニナツテ居リマス、ソレ故ニ朝鮮人ト内地人トノ間ニ結婚ガアリマスルト、即チ若シ朝鮮人ガ内地人ヲ婚養子ニ取ルトカ、或ハ妻ニスルト云フコトニナリマス、朝鮮ノ民籍法ノ中ニハ入りマス、併ナガラ内地ノ戸籍法ノ方カラハ慥カニ除カレナイト云フヤウニ承知シテ居リマス、又朝鮮人ノ方カラ内地人ノ方ヘ入夫ニナル、或ハ結婚ヲ致ストカ云フ場合ニ於テハ、内地ノ戸籍ノ方ハ司法省ノ御方ガ能ク御承知デアリマセウガ、朝鮮人ノ方ハヤハリ民籍ノ中カラ別ニ省キモセズ、其儘ニナツテ居リマス、故ニ朝鮮ノ方ハ入ル者ハ朝鮮ノ民籍ニ入ルガ、出ル者ハ朝鮮ノ民籍ノ中カラ除カレナイ、斯ウ云フ事ニナリマシテ、其邊ノ交渉が無イコトニナツテ居ル、故ニ内地人ガ朝鮮人ト結婚シテ朝鮮ノ民籍ニ入りマス、朝鮮ノ民籍ノ方カラ云フトソレハ正當ノ結婚デアル、ソレカラ生レタ者ハ正當ノ子女デアルト云フコトニナリマスガ、内地ノ戸籍ノ方デハ其婦人ヲ除キマセヌカラ、其婦人カラ生レタ者ハ或ハ内地デハ私生子ト見ルカモ知レマセヌ、斯ウ云フ關係ガアルヤウニ思ヒマスガ、其邊ハ唯私共ハサウ記憶シテ居リマス、免ニ角朝鮮ニハ民籍法ト云フモノガアリマシテ、朝鮮人ダケノ民籍ヲ整理シテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○委員長(長島鷲太郎君) チョット問ヒマスガ、戸籍トカ民籍トカ云フモノハ多少統計ノ材料ニナルノデアルガ、今迄ノヤウナ取扱デ一向統計材料等ノ差障リハ無イ譯ニナリマスカ

○政府委員(荒井賢太郎君) 是ハ先ツ警察ニ皆居ケルコトニ唯今デハ致シテ居リマス、ソレニ基イテ統計ヲ警察ガ取ツテ居リマス、今日朝鮮ノ戸口調査ト申シマスノハ、ソレガ基礎ニナツテ戸口調査ヲヤツテ居リマス

○野村嘉士君 今臺灣ノ政府委員ニ於テハヤハリ内地ト同一ノ手續ヲ執ルト云フ御答デアリマシタガ、朝鮮ハ今ノ御説明ニ依レバ其通りデットヤリ切ル御考デアリマスカ、

又ヤハリ臺灣ト同ジコトニ内地ト同一ノ態度ヲ御取リニナルノデアリマスガ、其點ヲ一ツ……

○政府委員(荒井賢太郎君) 唯今申上デマシタ通りニ、此結婚ノ場合其他内地人ト朝鮮人トノ間ニ起リマシタ身分上ノ事ハ、戸籍ヲ統一シマセヌト云フト、雙方ニ不都合ヲ生ズルト思ヒマスカラ、戸籍ノ統一ト云フコトハ希望致シテ居リマス、併シハカナカ統一ニハチョット困難デアラウト朝鮮デハ考ヘテ居リマスガ、併シハ一般ノ問題ニナリマスカラ、中央ノ政府ノ御方針ニ依ルコト、思フテ居リマス

○加瀬禧逸君 今ノ民籍法ノ中ヲチョット見ルト、移居ト云フノガアル、是ハドウ云フモノヲ指スノデスカ

○政府委員(荒井賢太郎君) ドウモ私モ詳シク此中ノドレハドレト云フコトヲ存シマセヌガ、朝鮮ノ舊慣ニ依テ之ヲ指ヘタノデサウデス、ト云フノハ元カラヤハリ斯ウ云フモノハ朝鮮ニアリマスサウデス、ソレヲ弊害ガアルト云フコトデ修正シタノデト云フコトデゴザイマス、ソレテ移居ト申シマスノハ其處ニ寄寓デモシテ居ルコトデアラウト私ハ思フテ居リマス

○加瀬禧逸君 附籍ハアルノデスカ

○政府委員(荒井賢太郎君) アレハ日本ニ於ケルヤウナ附籍デアラウト思ヒマス

○荒川五郎君 先刻司法大臣ノ御説明ニ、家族制度ノ事ニ付テ原籍ト住所主義ノ何ガアリマシタガ、民法ニハ住所主義ニ依ツテ居ルト云フ、是ハ民法ノ其主義竝ニ親族法、相續法ニ於ケル箇條ハ、今日家族制度ヲ尊重スル意味ニ於テソレ等ハ統一スベク改正セラル、方針デアリマスガ、此際ニ一應其言明ヲ願ヒマス

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 此點ハ別ニ改正ヲスル見込ハアリマセズ、又改正ヲスルコトガ出來得ナイト思ヒマス、住所ト申シマス御承知ノ通ニ生活ノ本據地デアリマスルカラ、訴訟或ハ相續ナドト云フモノハ主トシテ其關係ガ生活ノ本據地ニ存在シテ居ルモノデアリマスル、デ之ヲ若シ本籍主義ニ致シマシタ時ニハ、非常不便ヲ生ジマシテ、實際ノ運用ノ上ニ甚ダ差支ヲ起シテ來マス、ソレテ民法ニ於テハ住所主義ガ取ツデアリマスノデ、本籍主義ニ依テ差支ノ無イモノハ本籍主義ヲ取ツテ宜シイノデスカ、其中徵兵ノ如キハ先刻モ御話致シマシタ如ク、是ハ本籍主義ニ依テ差支ナイト認メタカラア、ナツテ居ルノデラウト思ヒマス、尙其他ニモ法律關係ニ付テアルカモ知レマセヌガ、私ノ記憶シテ居ル所デハ徵兵令ヨリ外ニハ先ツ無イト思ヒマス、他ハ皆財産訴訟其他ノ關係デアツテ、ドウシテモ住所主義ニ依リマセヌト今日ノ時代ニ於テハ到底ムツカシカラウト、斯様ニ思フテ居リマス

○委員長(長島鷲太郎君) チョット御諮リ致シマスガ、民政長官並ニ朝鮮ノ政府委員ハモウ御質問ガナケレバ御歸シシテ差支アリマセヌカ——ソレカラ尙一ツ御諮リ致シマスガ、大臣ヘノ御質問ハ成ベク先ニシテシマヒタイト思フ、御質問ノアリマス方ハ……

○石黒磐君 極ク簡單ナノデゴザイマスガ、此頃族稱云々ニ付テ、或ハ多數ニアルモノヲ書クハ面倒ダト云フノデ省イタト云フ、今大臣ハ某氏ノ質問ニ對シテ族稱ニ非ズト云フ、是ハ大臣ガ文字ニ囚ハレテ居ル弊デハナイカト思フガ、當初平民士族華族ト云フコトヲ設ケタ時ハ、ドウ云フ意味合デ設ケタモノデアリマセウカ、又今日デ言ヒマス、ドウシテモソレハ文字デ言ハバ一般人民ト云フコトデゴザイマセウガ、併ナガラ現今迄ノ使用



ハ即チ平民モ華族モ土族モ一ノ相對シタモノデ、族稱ト看做シテ來テ居ル、ソレ故ニ實  
ハ大臣ノ御説明ハ文字ニ因ハレテ居ルノデハナイカト私ハ解釋致シマス

○司法大臣(法學博士奥田義人君) 私ハ左様ニ解釋シテ居リマス、尤モ法令中ニ  
時ニ或ハ族稱アル如ク書イテアルモノモアルノデ、銘々意見ハ違フカモ知レマセヌケレ  
ドモ、平民ト云フコトハ私ハ族稱デナイト思フ、元來此族稱ト云フコトガ甚ダ曖昧ナモノ  
デアリマシテ、曖昧ナト云フノハドウ云フ譯デアアルカト申シマス、此維新前デアリマスレバ  
重ニ是ハ家ノ格デ、マア今日ノ言葉デ申シマスト族稱トモ云フ言葉ヲ以テ當嵌メテモ  
宜イカト思ヒマス、士トカ或ハ士デナイトカ云フコトハ家ノ格デアッタラウ、トコロガ維新ノ  
後——今法令ヲ搜シテ居リマスガ分リマセヌガ、確カ太政官ノ達カ何カニ從來ノ公卿ハ  
總テ華族トスルト云フコトガ出テ居リマス、公卿ト云フモノハ即チ其個人ガ公卿デアッテ、  
其人ノ家族マデガ公卿デアアルモノデハナイ、唯其中ノ戸主ガ公卿デアアルカラ、他ハ其公卿  
ノ家ノ家族ダ、斯ウ云フコトニナル、サウスルト家ノ格式ニアラスシテヤハリ戸主ノ格式ニ  
ナッテ居ルヤウニ思ハレルノデス、公卿ヲ華族トスルト云フコトハ——隨テ今日ノ華族令ニ  
モ有箇者ヲ華族トシテ、即チ家ノ戸主——箇者ヲ居ル者ガ華族デアッテ、而シテ其  
家族ノ者ハ其戸主ガ華族デアレバ其御蔭ヲ以テ華族ト稱スルコトガ出來ル、斯ウ云フ理  
窟ニ立テラレテ居ルヤウニ私ハ覺ヘテ居リマス、士族デモドウモ同様デアラウト思フ、固  
ヨリ性質ハ甚ダ判然シナイモノデハアリマスケレドモ、一家ノ戸主デアアル者ニ付テヤハリ  
格式ヲ定メタモノデ、華族トカ士族トカ云フモノハ——ソレデ平民ト云フモノハ唯是ハ一  
般ノ人民、斯ウ云フ意味デサウ云フ格式ノ者ヲ指シタモノデアルト私ハ是マデ解釋ヲ致  
シテ居リマス、或ハ間違ッテ居ルカモ知レマセヌ

○石黑磐君 平民ト云フ文字ハ初ハ何時カラ使シテ來タノデス  
○司法大臣(法學博士奥田義人君) ソレハ今ノ士族華族ナドト云フヤウナ名稱ガ出  
來タノデ、ソレニ對シテ一般ノ者ヲ平民ト斯ウ云フコトニナッタラウト思ヒマス、ソレ故ニ  
族稱デハナイノデ、一般ノ者ハ即チ平民デアアル、之ニ格式ノ附イタ者——士族ナラ士族  
ト云フ格式ノ附イタ者ハ士族——斯ウ云フ譯デアラウト私ハ思フ

○齋藤隆夫君 ドウモ此寄留者ト云フモノ、解釋ガマダ私ハ頭ノ中ニ徹底シテ居リマ  
セヌガ、是ハドウナルデスカ、九十日以上本籍外ニ於テ一定ノ場所ニ住居スル者ハ之ヲ寄  
留者トシト云フノハ、九十日居ッタ者ト云フノデスカ、九十日居ル積リテ或ル地ニ移轉  
シタ者ト云フノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 事實九十日經過シタ者ノミヲ寄留者ト云  
フノデアリマセヌノデ、將來九十日繼續シテ一定ノ場所ニ居住セントスル者ヲ寄留者  
トスルト云フ意味デアリマス

○齋藤隆夫君 餘程私ハ之ガ其意味ガ違ッテ來タヤウニ思ヒマス、スルト例ヘバ代議  
士ノ例ガ引カレマシタガ、代議士ノ方ガ三箇月以上東京ニ滞在スルト云フ積リテ上京  
セラレタナラバ、上京セラレタ時此寄留者ニナッテ、サウシテ寄留届ノ手續ヲヤラナケレバ  
ナラヌト云フコトニナルデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) サウデス  
○野村嘉六君 ソレデハ今ノ政府委員ノ御説明デアルト、先ノ説明トハチヨット違ッテ來

タヤウニ思ヒマス、又第一條ノ文章ヲ見デモドウモ其意味ニ取レヌデス、何トナレバ一條  
ニハ九十日以上本籍外ニ於テ一定ノ場所ニ居住スル者ハトシテアル、今ノ政府委  
員ノ説明ノ通りデアラナラバ「居住シ又ハ居住セント欲スル者ハトシナケレバナラヌト思ヒ  
マス」居住スル者ハト云フ過去詞ヲ使ッテ居ル、ソレカラ今ノ政府委員ノ説明デハ、假  
令今居住シテ居ナクテモ、是カラ先キ九十日居ラウト思フ者モ尙這入ル、斯ウ云フコトデ  
アツタナラバ「居住セントスル者」ツマリ將來詞ヲ使フベキモノデアラウト思フ

○政府委員(法學博士小山温君) ソレハ文字ガ惡イカモ知レマセヌガ、若シ文字論テ  
云フト野村君ノヤウナ御解釋ナラ「居住シタル者」デナケレバナラヌ、永久ガ住所、九  
十日居住ガ寄留……

○齋藤隆夫君 スルト寄留者デアアルカナイカト云フコトハ、全ク本人ノ事實ニ因ッテ稱  
スルコトデナク、意思ニ因ッテ稱スルコトデアラデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 左様デス、意思ニ因テ稱シマス、併ナガラ自  
分ガ寄留者デナイト思フテ居ッタト云フテモ、事實九十日ヲ經過シタモノナラバ寄留者タ  
ル取扱ヲ受ケルモノデアルト云フ法律上ノ解釋ニナラナケレバナラマセヌ、九十日以上一  
定ノ場所ニ居ッテ、居出ヲシナケレバ寄留法ノ制裁ヲ受ケナケレバナラヌ、九十日過ギ去  
ラヌ者ハヤハリ其人ノ意思ニ依ッテ極マルノデス

○島田俊雄君 今ノ御答ノ中ニ私ノ問ハントシタコトモ少シ含シテ居リマシタガ、此第  
一條ノ「居出ニ因リ又ハ職權ヲ以テ寄留簿ニ記載スルコトヲ要ス」トアル、此職權ヲ以  
テ寄留簿ニ記載スルト云フノハ如何ナル時期カラヤルコトニナリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ツマリ或ル人ガ一定ノ場所ニ住シテ居ッテ、  
之ガ寄留者トシテ取扱ハル、コトガ出來ルト認メラレタ時ニ、職權ヲ以テ記載スルト云フ  
コトニナルノデス

○島田俊雄君 其時期ト云フノガ頗ル曖昧ノヤウニ思ヒマスガ、今ノ御話ノヤウデアリ  
マス、ソレヲ理論的ニ詰メテ言ヒマス、九十日以上居出ヲセズ一ト所ニ居ッタ者ガア  
ル、其者ニ就テ九十日以上既ニ其處ニ居住シテ居ルノニ、未ダ居出ヲシナイト云フノ  
デ、始メテ職權デアルト云フコトガ起ッテ來ルヨリ外ニ起ルコトハナイト思ヒマスガ、山内君  
ノ御説明デアリマス、此處ニ九十日以上ト云フコトガアツテモ、一ノ場所ニ留ッテモ十  
日目トカ十五日目ニ居出ヲシナケレバナラヌト云フコトデアアル、其分ト今ノ職權ヲ記載ス  
ルトノ間ノ聯絡ハドウシテ取リマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 成程實際カラ申シマスレバ、多ク職權登錄  
ヲスル場合ニハ、事實九十日以上經過シタ者ニ多ク適用ガアルノデアリマセウ、併ナガラ  
法ノ精神ハソレノミニ限ラヌノデ、或者ガ九十日以上一定ノ場所ニ居ル、寄留スベキモ  
ノト見タ場合ハ、ヤハリ職權登錄ガ出來ルノデス

○島田俊雄君 斯ウ云フコトガ適當デアリマセヌカ、例ヘバ十日ナラ十日居ッテ寄留  
スル者ハ寄留シナケレバナラヌト云フ規則ガ出來テ、サウシテ十日以上經ッテモ居出ヲシ  
ナイ者ハ督促スル、イツ何日ニ寄留スルナラ寄留届ヲ出セ、其督促ヲマダヤラナイトキ  
ニ、ドウモ寄留スルニ違ヒナイ者デアルケレドモ居出ヲシナイト認メタ時ニ職權記載ト云フ  
ヤウナ規則ガ起ルノデアリマセヌカ

第五類第二十六號 戶籍法改正法律案外三件委員會議錄 第六回 大正三年三月四日 五九

○司法省參事官(山内確三郎君) 職權記載ト云フコトヲ記載致シマシタノハ、今日寄留ハ總テ居書ニ於テノミ記載スルコトニ致シマシタ結果、寄留居ヲ非常ニ怠ルハ人多ク、寄留ヲ調ベテモ寄留簿ニ書カナイコトガアル、ソレガ此間島田サンノ御話ノ市勢調査ノ結果ト非常ニ合ハズシテ、寄留簿ノ記載ガ實際ニ間違ッテ居ル、退去シタ者モヤハリ届出ガナイト之ヲ消サナイト云フヤウナコトニナツテ、非常ニ寄留者ノ取扱ニ困ッテ居ルト云フノデ、各市——東京市カラモ出テ居リマスガ、多クノ市町村カラ職權ヲ書クコトヲ寄留ノ中ニ入レテ吳レト云フノデアリマシテ、例ヘバ市勢調査ガ了ツタ、ソコデ寄留簿ヲ見ルト非常ニ間違ッテ居ル、ソレ等ノ分ツタモノハ記入スルノモ一ツノ方法デアリマスルシ、又外國人ハ警察ニ届ヲ致シテ居ル、ソレヲ更ニ市町村長ガ届出デシメルヨリハ、全ク之ヲ利用シテ職權ヲ以テ記載スル方法モアラウ、又唯今島田サンノ御話ノヤウナ場合モ或ハ起ルダラウ、是ハ届出ニ依リニアラズンバ寄留簿ニ記載ガナイニ非常ニ困ツタノデ、出來ル限り明カニナツテ居ル限リハ總テノ方法ヲ利用シテ、職權ヲ以テ寄留簿ノ正確ヲ期シヤウト云フノガ此案ノ趣意デアリマス

○島田俊雄君 唯今ノ山内君ノ説明デ一部分ニ明瞭シタヤウデアリマスガ、若シヤウ云フヤウナ意味デ此寄留簿ノ重複ニナツタ實際寄留シテ居ラヌ者ガ寄留シタヤウニナツテ居ルトカ云フヤウナコトガアリマシタ場合ニハ、之ニ對スルコトガ一向規定ガナイ、即チ職權ヲ以テ抹消スル場合ノ方ガ山内君ノ御説明デアルト必要デナクテハナラヌ其點ニ付テハ何等ノ規定ガナイ、記載スルコトニ付テハ規定ガ職權ヲ記載スル場合ガアリマスガ、寄留ニ付テノ弊害ハ、寄留シテ居ル者ガ届出ヲセヨリモ、私ノ實驗シテ居ルトコロニ依リマスルト、ソレヨリハ寧ロ寄留シテ居ル者ガ一旦寄留居ヲ出シテ逃ゲタ者ガ退去届ト云フモノヲ出サナイ、抹消居ヲ出サナイコトガ重ナ弊害デアル、ソレニ對シテハ所謂職權抹消ノ事柄ハ見エテ居リマセヌ、是ハ第三條「其他寄留ニ關スル事項ハ司法大臣」云々ヲ以テヤル御積リデアアルデアリマスガ、或ハソレニ就テ特殊ノ何カ此上ニ付テサウ解釋ノ出來ル場所ガアルカ、或ハ落チテ居ルカ、其點ヲ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ職權ヲ寄留簿ニ記載スルコトニ致シマシタ結果、ヤハリ三條ニ依テ出シマスルトコロノ省令テ削除抹消ノ出來ルコトニシヤウト思フノデアリマス

○熊谷直太君 チヨット一ツバカリ質問ヲシタイト思ヒマス、寄留者ハ一箇ノ寄留地ヲ持ツコトガ出來ルカドウカ、ソレカラ今一點、住所ヲ以テ寄留地ト看做サル、ノデアリマスガ、看做サナイノデアリマセウカ、此二點ヲ御聞キシタイ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 先程申シマスル通り、寄留ト云フモノハ其身ヲ置キマシタコトヲ届出ル主義デアリマスカラ、一箇ノ寄留ト云フコトハ事實上アルベカラザルコト、思フノデアリマス、ソレカラ住所ヲ以テ寄留ト看做ストハ一概ニ申スコトハ出來マセヌ、住所ノアリマシタ外ニ先程私が引證致シマシタガ、住所ハ一ツアリマシテ、御承知ノ通り一人一箇ノ住所デアリマスカラシテ、一箇ノ住所ハ認メマセヌ主義デアリマスカラ、住所ノ外ニ寄留ト云フコトハ認メマスケレドモ、必シモ住所ヲ以テ寄留トスル主義デアリマセヌ

○司法省參事官(山内確三郎君) 補テ置キマスガ、先刻問題ニナリマシタ居住

——居住ノ中ニハ住所ヲ持ッテ居ル者モ、居所ヲ持ッテ居ル者モアラウト思ヒマス、然ルニ居所ハ必シモ一ツ所ニ限ラズシテ、多クノ場合ニアルコトハアルニ違ヒナイ、其場合ニ各居所ニ於テイロ／＼警察署ノ保護ヲ受ケナケレバナラヌ、保護モシナケレバナラヌ、又其他利害關係モアルデアセウカラ、各所ニ居所ヲ九十日以上持ッテ居レバ、ヤハリ各所デ寄留居ヲ出サナケレバナラヌ、住所ハ寄留ト看做スカドウカト云フコトデアリマシタガ、斯ウ云フコトデアリマス、今度寄留居ノ細則ヲ作ルニ當リマシテ、普通ノ滞在者ト住所ヲ有スル者トハ成ルベク届書ニ明カニシテ、住所ハ是レダケ、單純ノ寄留者ハ是レダケト云フコトニ届出ノ手續ヲ區別ヲ致サウト思ヒマス、勿論住所ヲ持ッテ居ル者ハ、確ニ一定ノ場所ニ九十日以上居住スルコトモ最モ顯著ナルモノデアリマスカラ、ソレガ寄留者ト看做スヨリ寧ロ當然ノコト、思フノデアリマス

○熊谷直太君 サウスルト二箇ノ寄留地ヲ持チ得ルコトニナルノデアリマスガ

○島田俊雄君 大體ニ關スルヤウナ事柄デアリマスガ、御問致シマス、寄留法ト云フモノニ付テハ大體ドウモ多クノ間違ガアリマスガ、茲ニ規定サレテ居ル寄留法ト云フノハ最前御説明モゴザイマシタガ、繰返シテ御尋フ致シマスガ、是ハ從來ノ寄留ニ關スル規定ノ原則ノヤウナモノヲ此處ニズット唯舉ケラレタノデアツテ、從來ノモノハイロ／＼ナ古イ法律規則ナドノ寄集メテ、從來ノ寄留手續ガ完備シテ居ラヌカラ、ソレヲ茲ニ集メテ大成シタ意味ニ過ギナイノデアリマスガ、或ハ此處ニ寄留法ト云フモノ、中ニ、從來ニ全ク無イヤウナモノ全ク違ッテ居ッタヤウナ點ニ付テ、特別ニ御規定ニナツタヤウナモノガアルカ、モウ一ツハ此寄留法ト云フモノガ斯ウ云フ風ニ制定シナケレバ、從來ノ遣リ方デハ不便デヤリ切レナイト云フヤウナ點ガアルノデアリマスガ、サウ云フ特別ナ不便ヲモノガアルカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 特別ノモノトシテハ別段著シキモノハアリマセヌガ、先ヅ二條ニ戸籍ノ三條五條六條ノ規定ヲ準用スルト云フコトハ茲ニ新タニ明カニシタ次第デゴザイマス、而シテ大原則ハ先程申シマス通り、現行法ト趣意ハ異ナラヌコトニナリマス、ソコデ細カイ事柄ニ付テハ總テ三條ニ纏メマシテ、三條ヲ括リ付ケル、斯ウ云フ積リデアリマス

○島田俊雄君 ソレデハ今一ツ此制定セラレルトコロノ寄留法ト戸籍法ト云フモノトノ關係ハドウ云フ風ヲ御解釋ヲ持ッテ居リマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ先程申上ゲマシタ通り、戸籍法ハ戸籍ノコトヲ記載スルコトニ致スマシテ、此寄留法ハ所謂寄留地、其身體ノ存在ヲ明カニスル目的ヲ持ヘタノデアゴザイマス、ソレデアリマスカラ戸籍ノ記載ハ戸籍ノ記載トシテ別ニナシ、戸籍外ニ居所ヲ定メレバ此寄留法ニ依ッテ記載スル、斯ウ云フコトニナル

○荒川五郎君 今例ヘバ廣島縣ニ本籍ヲ持ッテ居ルノガ大阪ニ住居シテ居ル、サウシテソレガ議會ニ出テ東京デ二箇月ナリ四箇月ナリ家ヲ持ッ、斯ウ云フ時分ニハ大阪ニ平生ハ居ルノデアリマス、本籍ハ廣島ニアル、ソレカラ東京ニ來テ又議會中家ヲ持ッノデアリマス、其邊ニ付テハドウナルノデアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ廣島ガ本籍デアリマシテ、大阪ガ住所デアリマシテ、九十日以上東京ニ來ルト致シマスレバ東京ガ寄留地ト、斯ウ云フコトニナリマス

○荒川五郎君 サウシマスルト大阪ニドウ云フ帳簿が出来ルノデアリマスカ  
○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ヤハリ大阪ハ寄留地デゴザイマス、九十日以上居レバ

○荒川五郎君 大阪ハ寄留デスカ  
○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 大阪ニズット居レバ——本籍ナクシテ居レバヤハリ寄留ニナリマス

○荒川五郎君 大阪ニモ寄留シ、東京ニモ寄留スルコトニナルノデスカ  
○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 左様

○荒川五郎君 サウスルト東京ニ九十日居レバ、其間ハ大阪ノ寄留ガ消エルノデスカ  
○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 其點ハ一ツ研究モノデアラウト思フ、大阪ニ寄留居ラシテ置イテ、議會開會中九十日間轉寄留ノコトニ致シマスカ、或ハ轉寄留デナク同時ニ大阪ニモ寄留居ニナリ、東京ニモ寄留居ラサシメルカト云フコトニ付テハ目下研究中デゴザイマス、同時ニ二個ノ寄留居ラサセテ置クカ、一ツニシテシマウカ、今日マデノ取扱ハ二個ノ寄留居ニナッテ居リマス

○荒川五郎君 ソレガ今ノヤウナ場合ニ、東京ニ家ヲ持ツタ時分ニハ、縦令二日居ッテモ九十日居ルモノト認定モ付キマスガ、宿屋ニ泊ッテ居ルノハ寄留ニハ關係ガナイノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 宿屋ニ泊リマシテモソレハ構ヒマセヌ、ヤハリ寄留ニナリマス

○石黒磐君 サウスルト生活ノ本據ハ一箇處ニ極メテアルノガ民法ニアル、サウシテ市町村ノ權利義務ノ關係デアリマスガ、非常ニ差支ガ生ラテ來ヤシマセヌカ、幾ツモ公民權ヲ有ツコトニナルガ、斯ウ云フ場合ハ如何デスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 私ノ申シマシタノハ生活ノ本據ガ數箇所ニナルト云フ結果ニハナラヌノデアリマス、シテ唯今引例シテ廣島大阪東京ノ問題テ申シマス、廣島ハ單ニ本籍地ニ過ギマセヌカ、是ハ生活ノ本據ニハナリマセヌ、ソレカラ大阪ニ住所ヲ有ッテ居ルト云フナラバ、即チ民法ニ謂フ所ノ住所ガ生活ノ本據地デゴザイマスカラ、大阪ガ即チ生活ノ本據地デアル、東京ニ於テ九十日以上居住シテ居ッタト云フダケデアラナレバ、所謂居住ニ過ギマセヌカラハ生活ノ本據ニハナルマイト思フ、要スルニソレガ生活ノ本據デアレバ民法ニ謂フ住所デアル、住所ト居住トハ違ヒマシテ、居住ハ幾ラ長ク居リマシテモ所謂居住デアラナラバ、ヤハリ生活ノ本據ニハナラヌト思フ、若シモ居住ガズット長ク二三年モ居ルト云フコトニナレバ、居住變シテ住所ニナルデアラウト思フ、即チ生活ノ中心ガ移轉シタモノト思ヒマス

○石黒磐君 私ハ名古屋ガ出身地デ、名古屋ニモ公民權ノ資格ヲ有ッテ居ル、併ナガラ月給取りニナッテ二三年他ニ居ッテ、國稅其他市町村稅ヲ納メテ、此處ニ於テモ公民權ヲ有ッテ居ル、斯ウ云フ場合ハ如何デスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ住所ハ何レノ地ヲ以テ住所トスルカト云フ事實問題ノ解釋デアラウト思フ、從來住所ヲ定ムルニ付テイロ、學說モアリマスガ、私ハ今學說ヲ申スノデアリマセヌガ、永久其處ニ身ヲ置ク意思ヲ以テ其處ニ身ヲ

置ケバ即チ住所トナル、期間ノ長短ニ關係ハナイト云フノガ普通住所ト云フコトニ私ハ心得テ居リマス、故ニ妻子ガ居ルトカ居ラヌトカ、或ハ營業ガ大ナル營業場ノアル所ヲ住所トスルカ、或ハ小サイ營業場ヲ以テ住所トスルカト云フコトニ付テハ、一々確タル法律上ノ標準ハアリマセヌノデ、ヤハリ各自ノ意思ニ依テ住所ハ定マルモノデアラウト思フ、其意志ト現ニ住居ヲ定メタト云フ事實、此二ツノ事實ニ依テ住所ハ定マルモノデアラウト思フ、私ハ數箇所ノ住所ガ生ズルコトハナカラウト思フ

○島田俊雄君 私ノハ大體ノコトヲ申スノデアリマスガ、此寄留法ハ最前カラ段々御說明ニナッテ居ル所ヲ見ルト、戶籍法ノ方ハ餘程御研究ガ積ンテ居ルヤウデアリマスガ、寄留法ニ付テハマダ御研究ガ十分テナイ所ガアリハセヌカト思フ、其顯著ナル一ノ例ハ、御答辯中ニ此法律ニ依テヤッテ居ルト、寄留所ガ一箇所ニナリハセヌカト云フ質問ニ對シテ、或ハナルト云ヒ或ハナラヌト云フ御說明ガアッテ、シマイニハ二箇所ニナリ得ルト云フ說明ガアッダヤウデアリマスガ、左様ナコトハアリ得ベカラザルコトデアアル、住所デモ居所デモ、亦寄留デモ、其邊ハ人間ニ付テ一ツ宛シカナイト思フ、法理上ニ二箇所三箇所ニモ寄留シテ差支ナイト云フ、斯ウ云フ法律ヲ制定スルノハ以テノ、外デアアル、唯今石黒君ノ御質問ニナリマシタ如キ弊害ニ付テサウ云フ質問ノ出ルノハ、此法律ノ大ナル缺點ヲ示シタモノデアラウト思フ、ソレ等ノ疑點ノ現ハレテ居ル所ヲ見ルト、即チ是ハ一方ニ於テ職權ヲ記載スルト云フ規定ヲ設ケテ置イテ、他ノ規定ニ於テ抹消ノ規定ガナイ、職權抹消ノ規定ガナイ、斯ウ云フ規定ヲ此中ニ置カズシテ、之ヲ司法大臣ノ定ムル所ニ一任スルイ云フノハ、甚ダ不完全ト思フ、此寄留法ノ全體ニ付テ戶籍法トノ關係ヲ質問シタ所ニ對シテモ、政府委員ノ御說明ハ私ヲ満足セシムルコトガ出來ヌ、私ノ考フル所デアハ此寄留ノ制度ハ、我國ノ戶籍法ニ於テモ、現行法ニ於テモ、此改正法ニ於テモ、本籍ト云フモノガ現住所、住所ト云フモノヲ本籍トスルト云フ主義デアッテ、其本籍ハ各人ノ自由意思ニ依テ定マルト云フ其主義ノ結果カラ此寄留法ガ出テ來ル、故ニ一方ニ於テ本籍ヲ各自ノ自由ノ意思ニ依テ定ムルコトヲ制度ノ上ニ現ハシタナラバ、寄留法ガドウシテモナケレバナラヌコトニナル、其點ニ於テ戶籍法ト寄留法ト間ニ密接ノ關係ガ出テ來ル、又此法律ヲ見レバサウ云フ風ニナッテ居ル、御說明ハサウ云フ風ニ聽カヌカサウ云フ風ニ考ヘル、左様ニ致シマス、此寄留法ト戶籍法ハ最モ重要ノ關係ヲ持ッ、又最モ親密ナ研究ニ依テ出來テ居ルト思ヒマスガ、ドウモ先刻カラノ御說明ヲ綜合シテ見ルト、サウ云フヤウナ點ニ於テイロ、缺點ガアル、要スルニ是ハ不便宜カハ知ラヌカ、此案ノ一二箇條ハ別トシテ、其多クハ其儘ニシテ置イテ、其中ノ不便ナ所ヲ改正スルヤウニ消極的ノ改正ニナッテ方宜クハナイカト云フ考ガ起ルノデアリマス、是等ニ付テハモウ段々質問ヲ致シマス、スレバスル程山ノ奥へ往クヤウデ、迷宮ニ這入ルヤウナ氣ガ致シマスカラ、私ハ是ニ付テハモウ質問ヲ止メル積リデアリマスガ、サウ云フヤウナ二重寄留ヲ許ス解釋ニナルヤウナ御答辯ハ成ベクナラヌ方宜カラウト云フコトヲ希望トシテ申シ上ゲマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 先ヅ第一番ニ戶籍法ト寄留法トノ關係問題デアリマス、此寄留法ヲ作ルニ至リマシタ趣意ハ、現行法ニ於テ寄留ノ關係ヲ舊法ヲ保存シ、戶籍法ガ出來マシタ所以ハ、唯今島田君ノ御意見通りデアリマス、ソコデ本籍ヲ住所ニスルコトニナレバソレハ寄留法ハ要リマセヌカ、住所ヲ本籍トスル主義ヲ執ラナ

イガタメニ、本籍外ニアル者ノ寄留ノ一ノ制度ヲ設ケテレバナラヌ、斯ウ云フコトテ出來テ居ル、ソレレ記載ノ關係ヲ持スルニ付キマシテモ、本籍役場ニ於テ寄留簿、ソレカラ寄留地ニ於テ入寄留簿ト云フヤウナモノ今日作ッテ居リマスガ、大體此制度ハ起ランケレバナラヌト思フ、ソレレ此戶籍ト寄留ノ關係ハ、餘程密接ナ關係ガアリマス、ソレレ之ヲ現行法ノ一部修正ニセズシテ全體ノ改正ニ致シマシタノハ、現行法ハ太政官布告カラ始マツテ、或ハ法律デアットコロノ憲法以前ノ內務省令定マツテ居ルモノ——サウ云フ法律ナリイロ、內務省令テ以テ出來テ居リマシテ、其關係カラ各市町村テ寄留ノ關係ヲ詳記スルノハ甚ダ困ルト云フノデ、今日ノ制度ノ中ニ複雜ニナツテ居ルモノヲ一括シテ總テ綺麗ニシテ、將來司法省令テ以テ內務省令ノ關係ヲ一掃スルト致シマシテモ、ソレ極ク極メテ明カニ整理シヤウト思フ、サウ云フ次第デアリマスカラ、今マデノ關係ヲ一掃スルコトハ極メテ必要ニナル、ソレレ今ノ二重寄留デアリマスガ、二重寄留ト云フコトハドウシテモ避クベカラザル關係デ、本籍以外永久ニ住所ヲ持ッテ居ル、例ヘバ大阪ノ例ガアリマシタガ、大阪ニ永久ニ住所ヲ持ッテ居ル、其者ガ例ヘバ二年間商業上ノ關係テ東京ニ來ル者ハ、一面ニ於テ住所ヲ持チ、又一面ニ居住ヲ持ツコトニナツテ居ル、此住所ヲ持ッテ居ル者ヲ寄留者トシテ取扱ハナケレバナラヌ、即チ廣イ意味ノ寄留ニナル、住所モ寄留ノ中ニ入レル積リデアリマス、併ナガラ住所ヲ有シ居所ヲ有スルコトニナレバ、住所ヲ居出アル居所ヲ居出アルコトハ取締上極メテ必要ト思フ、サウ云フ次第デアリマスカラ、先キニ私ガチヨット一言致シマシタ通り、同シ寄留ト云フ廣イ文字ヲ用井テモ、細則ニ於テハ住所ト單純ノ住所ト云フコトハ之ヲ明カニシマシテ、生活ノ中心トソレカラ單純ニ滞在地下ト云フ區別ヲシテ、寄留簿ニ記載シヤウト思フデアリマス、ソレカラモウ一ツハ職權ヲ以テ抹消ニ關スル規定ガナイ、是ハ入寄留ノコトヲ記載スルノモ出寄留ノ記載ヲスルノモ、又退去ニ依テ寄留簿ヲ抹消スルノモ、寄留ノ記載ヲ如何ニスルカト云フコトハ、本法ニハ全ク細カキ規定ハ致シテアリマセヌ、唯ダ苟モ寄留者デアレバ之ヲ成ベク明カニシテ置カケレバナリマセヌ、寄留者デアルカナイカラ茲ニ寄留簿ニ明カニシナケレバナリマセヌ、サウシテ之ヲ寄留者トシテ記入スル方法如何ト云ヘバ、則チ第三條、ソレカラ抹消スル方モヤハリ第三條ニ依テ抹消ヲ定メヤウ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、ソレレ職權ヲ以テ寄留者ヲ寄留簿ノ中ニ明カニシテ置クト云フノガ第一條ノ趣意デアリマス、其關係カラ退去スル者モ這入ッテ來ル者モソレレ職權ヲ以テ記載スルノデアリマスガ、唯ダ記載法文ハ即チ三條ノ司法大臣ノ命令ニ依テ之ヲ定メルト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、現行法ニ於キマシテハ即チ司法上ノ事務ニ屬スルト云フコトダケガ、單純ニ司法行政ノ監督ニ依テ監督スルコトダケガ戶籍法ニアリマス、其關係ヲ誰ガ定メルカ、ドウ云フ命令ヲ以テ定メルカ、或ハ之ヲ法律ヲ定メルカト云フコトハ今日ノ法律ヲ明カデナイ、サウ云フコトモ茲ニ明カニシナケレバナリマセヌ、內務省令ヲ以テ今日寄留ノ關係ヲ規定シテアリマスガ、アレ等ガ果シテ善イカ悪イカモ一問題デ、憲法實施以前ノ即チ太政官ノ布告ニ基イテ內務省令テ以テ之ヲ定メタノデアリマスガ、是ハ或ハ法律ハナイカト云フヤウナ問題モ起リマシテ、ズット以前二十六年頃內務省令テ以テ居リマスガ、サウ云フ風ニ戶籍ノ關係ハ非常ニ錯雜シテ、立法關係モ非常ニ錯雜ニ陥テ居マスカラ、結局一掃シテ綺麗ニスルト云フノガ此案ノ趣意デアリマスカラ、ドウゾ左様ニ御了承ヲ……

○荒川五郎君 此寄留ト云フノガ、是マデノ法律ヲ見ルト云フト、外ノ意味ガアルノヲソレレ一ツニ籠メルカラ、斯ウ云フ錯雜シタモノニナルグラウト思フ、市町村制ニ二箇月以上滞在スル者トアル、本籍ガアツテ、ソレカラ今日生活ノ中心トナツテ居住シテ居ル處ガ是ガ寄留者、其以前ニ此議院ヘ出テ居ルト云フヤウナ特別ノ場合ニ往ッテ居ル者ハ滞在デアル、其者ハ滞在名簿トカ何トカ云フモノガ特ニ必要ガ出來ル、ソレレ舊來ノ如ク寄留簿ニシヤウト云フ御説明ニナルカラシテムヅケシクナル、寄留法ナルモノガ必ず必要ガアル、此法律ガ出ナイテモ寄留法ト云フモノハ要ル、是ガアルナシニハ關係シマセヌ、寄留法ハ極ク日本ニハ必要デアル、唯ソレガ三箇月以上滞在スル者ハ市町村制ニ依テ稅ヲ取ルコトニナツテ居ル、デアルカラ其者ハ必ず滞在名簿トカ何トカ云フ特別ノモノガ出來ナケレバナラヌ、ソレレ滞在ト寄留ヲ一ツニシテノ御説明デアル、是ガ唯今ノ答辯中ノ病源デハナイカト思フ、其證據ハ既ニ市町村制ニモ滞在ト云フ文字ガアルノデアル、ソレレ其滞在法ト云フモノガイラヌトシテモ滞在人名簿ト云フモノハ必要デアル、何トナレバ二箇月以上滞在シタ者ハヤハリ東京市ニ居レバ租稅ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ話デ、今日マデ皆脱稅シテ居ル、滞在人名簿ト云フモノガイカヌトシテモ稅ヲ取ル上カラ必要ガアル、若シ此必要ガナイト云フナラバ、先キニ島田サンガ大變心配サレル國勢調査ハ根本カラ出來ナイコトニナツテシマツテ、更ニ國勢調査ノ基本ヲ立テルコトガ出來ヌヤウニナラウト思フデアリマスカラ、生活ノ本據ニ於テ寄留簿ガアル、其以外ノモノハ特別ナル或種ノ居出ヲスルカ、調ベスル共法制モ更ニ出來ネバナラヌト思フ、チヨット意見旁々申上ゲマス

○石黒整君 島田君カラモ再ニアリマシタガ、免ニ角職權ヲ記載スルト云フコトデ罰金刑ヲ科スルコトニシテ、之ハ三條ノ司法大臣云々テ流用ガ付クト言ハレルカ知ラヌガ、如何ニモ法律ノ體格ヲ爲サヌデアラウト思フ

○齋藤隆夫君 最前カラ段々質問應答ヲ聽イテ居リマシタガ、寄留法ハ甚ダ不完全デアル、私モ質問ヲ許サレタラ澤山質問シタイコトガアルデスガ、今日質問ヲ寄留法ニ付テモ戶籍法ニ付テモ終ッテシマウト云フコトハ出來ヌデアラウト思ヒマス、モウ一遍七日ニ開イタラドウデス

○島田俊雄君 質問ハ終了シタイト思フ、今私ハ質問セヌト言ヒマシタケレドモ、一ツ質問シタイ

○齋藤隆夫君 戶籍法ニ付テ四ツばかり質問シタイ、終ルト云フナラヤリタイ

○委員長(長島鷲太郎君) ドウデス、マダ時間ガアリマスカラ

○島田俊雄君 兎ニ角一ツ聽キタイ、關聯シテ居リマスカラ——唯今山内君ノ大分詳シイ説明ニ依ッテ諒トスルコトモゴザイマスガ、第三條ニ依ッテ定メラレル司法大臣ノ命令ト云フモノハ、草案デモ出來テ居ルノデゴザイマセウカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 草案トマデ付イテ居リマセヌガ、御手許ヘ廻シマシタ參考法令ノ中ニ於テ採否ヲ決定シテ居リマス、案トシテ條文ハマダ拵ヘマセヌ

○荒川五郎君 是デ見込ハ付イテ居リマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 此中テ採否ノ見込ハ付イテ居リマス

○島田俊雄君 先程私ガ申シタヤウニ、極端ヲ言ヘバア、言ハネバナラヌガ、優シク申

セハ退去届ニ付テモ規定ガアルコトガ必要ト思フ、一方寄留届ガアルト同時ニ、退去ニ關スル規定モ設ケラレルガ必要アラウト思フテ居リマス、ソレハ退去スル前ニ届ヲスル、茲ニ或場合ハ職權ヲ以テ抹消スルコトガ出來ルト云フコトモ出來テ居ラネバナラス、寄留シテ居テ生レタト云ハバ入寄留アル、退去シタトキハ寄留テハ死シテ居ルニテアル、其場合ノ規定ヲ缺イテ、ソレヲ三條ニ籠メテ居ルノハ大ナル疑問ヲ含マレル、之ヲ以テハ多クノ立法部ノ入ヲ満足セシメルコトハムツカシカラウト思フノデアリマス、ソレヲ此第一條デモトノ條デモ、適當ナ場所ニ退去ニ關スル規定ヲ御入レニナルコトガ出來ハシナイカト云フ質問デアルガ、實ニ希望アル、ソレヲ御入レニナッタラ之ヲ案トシテ議スル價値ヲ生シテ來ハセヌカト思フ

○荒川五郎君 寄留ハ私ノ考デハ稅ヲ取ルコトガ主ナル目的デアルカラ、三箇月以上滞在スレバ市稅ヲ取ラレル、届出デナンダ者ハ稅ヲ餘計出スコトニナルカラ、サウ云フコトハ主ナル箇條デアルマイト思フ

○齋藤隆夫君 政府委員ニ御尋シタイ、例ヲ擧ゲルト最前荒川君ノ言ハレタヤウニ、大阪ニ住所ガアルト同時ニ寄留籍ガアル、ソレカラ又東京ニ寄留セラレルコトニナリマス、ソレヲ受付ケタト云フコトノ區役所ハ、荒川ト云フ人ガ東京ニ寄留シタト云フコトハ大阪ノ區役所ノ方ニ通知スルコトニナルデスカ、ソレハドウデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 入寄留ト出寄留ト云フコトヲ分ケル積リテゴザイマスルガ、入寄留ノ方ハ無論寄留地ノ方ニ爲シ、出寄留ノ方ハ本籍地ノ方ニ無スノデゴザイマス、先程言ハレタヤウナ場合ニ於テハ大阪ノ方ハ届ケナイ

○司法省參事官(山内確三郎君) 入寄留モ出寄留モ今日ニ於テハ一ニナッテ居リマスガ、併ナガラ前ニ申シマシタ通り寄留届ニ基キテ出來テ居リマストコロノ寄留簿ニ、之ハ住所デアルカ居所デアルカト云フコトヲ明カニスル積リテゴザイマス、從テ大阪ニ例ヘバ住所ガアルト云フコトニナッテ、其住所ノアル者ガ例ヘバ二年間何處ヘカ往ッテ居ルト云フコトニナリマスレバ、ソレハヤハリ本居即チ住所地ニ於テモ明カニスル方法ヲ執ランケレバナラス、今日ノ出入寄留ハ明カニナッテ居ナイ、此寄留法實施ノ上ハ、所謂本居ト居所ト云フモノガ二ツアル場合ニ於テハ、本居ニ於テモ居所ヲ明カニスル方法ヲ執ランケレバナラス、其關係ハヤハリ第三條ノ寄留簿ニ關スル事項トシテ省令ヲ以テ定メル腹案デアルノデス

○齋藤隆夫君 寄留籍ハ殊ニ依ルト二箇所ニモアルコトヲ豫想スルコトガ出來ルト云フ御答辯デアッタ、トコロガ九十日以上滞在シテ居ル所ニ寄留籍ガアルト云フ結果ヲ生ズルト、例ヘバ最前御話ノアッタ大阪ニ住所ガアッテ寄留籍ガアル、所ガ東京ヘ來テ三月居ルト居所ハ東京ニナッテ居ル、大阪ノ方ハ居所ハナイ、住所ハアルケレドモ居所ハナイ、其居所ノ無イ所ニ於テ寄留籍ヲ保存セラレテ居ルト云フコトニナルト、何ノコトカ分ラヌコトニナル

○野村嘉六君 速記ヲ止メテ寄留法案ダケニ付テハ島田君並ニ熊谷君、石黒君カラ非常ニ質問ガアリマシタガ、又實際ノ籍法案ニ比較スルト非常ニ御粗末ニ出來上ッテ居ル案デアリマス、サウシテ二重寄留ノヤウナ規定モ出來テ居ルシ、又退去ニ關スル規定ハ三條ニ依ッテ省令ニ讓ルコトニナッテ居ルガ、此退去ノコトハ最も必要ナコトデアル、ソレ

フ省令ニ讓ルト云ルヤウナコトハ、法文ノ體裁カラ言ッテ穩カデナイ、ソレカラ寄留届モ之ハ住所性質ノ寄留届、是ハ居所性質ノ寄留届ト云フノテ出ルヤウナ始末デ、ソレカラ國勢調査カラ言ッテモ非常ニ明確ヲ缺クコトニナル、ソレデアリマスカラ此法案ダケハ別ニシテ、明日デモ落合テ下相談ヲシテ、モウ少シ完全ナモノニ仕上ゲテ貰ヒタイト思フ

○委員長(長島繁太郎君) 野村君ノ御意見ガアリマスガ、諸君ノ御質問デ大概此寄留法ニ對スル御意見ガ分ッテ居リマス、又希望モ分テ居リマス、政府モ此場合ニ於テ多少ノ御辯解ガアラウト思ヒマス、チヨット討論マデ二日ハカリ間ガアリマスカラ、其間ニ政府ニ於テモ御考ヲ願ヒ、吾モ亦考ヘテ見タイト思ヒマス

○齋藤隆夫君 簡單ノ質問デアリマス、チヨット政府委員ニ御尋シマスガ、第一ハ此民法ノ中ニ戶籍吏ト云フ文字ガ大分アリマスガ、此戶籍法ガ實施セラレ、ト戶籍吏ト云フ者ガナクナリマスガ、民法中ノ戶籍吏ト云フモノハ如何ニシテ之ヲ直サレル積リデアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 民法ニ規定シテアル戶籍吏ト申シマスノハ、一ツノ官職名トハ解釋シマセヌデ戶籍ヲ取扱フ吏員ト解釋致シマスカラ、市町村長ガ戶籍ヲ取扱ッテ差支ナイト云フ考デ

○熊谷直太君 「戶籍ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ管掌ス」ト斯ウ云フコトニナッテ居ル、所デ第二條ニ於キマシテ市町村長ガ其職務ヲ行フコトヲ得ザルモノガアリマス、其場合ニ於テハ政府委員ノ御説明ヲ聞キマスルト云フト、ヤハリ市町村ノ助役ガ是ニ代ッテヤルト云フ趣旨ニ承リマシタ、所デ私ノ伺フノハ、市町村長ガ管掌ヲ許サレタノハ、戶籍法ヲ以テ初メテ管掌スルコトヲ許サレタノデアルガ、市町村制ヲ以テ許シタノデアリマセヌカラ、市町村制ガ如何カ特別ニ此助役ト云フ者ニ特別ノ權限ヲ委付シナイ以上ハ、此戶籍ニ關スル事務ト云フモノヲ行フコトガ出來ヌ理由ニナラナケレバナラスト思ヒマス、此規定ハ不完全ノヤウニ思ヒマスガ、ドッカニ規定ガアリマスガ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 市町村長ガ戶籍ノ事務ヲ管掌スルト云フコトハ第一條デ定メマシタ、而シテ市町村ノ取扱フトコロノ事務ニ付テハ代理者ガアルト云フコトモ市制町村制ニ定メラレテアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ市町村長ノ職務權限ニ於テハ其代理者ガ代理者トシテ取扱フトコトガ出來ルノハ當然ノコトデアラウト思ヒマス

○司法省參事官(山内確三郎君) チヨット補ッテ置キマスガ、町村制ノ七十七條、町村長ハ詰リ國家ノ事務ヲ行フコトガ明カニナッテ居ル、市制ニモ同様ノ規定ガアッテ、所謂國家事務ノ委任ヲ受クルノデアル、市町村長ガ——サウシマスト云フト、今度ハ戶籍法ノ第一條デ市町村長之ヲ管掌スルト云フコトハ、即チ法令ノ規定トナリ、法律ニ依ッテ市町村長ニ國家事務ヲ委任シタト云フコトニナル、其結果ハ町村制ニ付テ言ヘバ七十七條ニ依テ町村長ノ管掌スベキ事務ト云フコトニナル、サウ云フコトニナリマスカラ、其戶籍事務モヤハリ町村長ノ事務トナッテ、例ヘバ教育事務ト同様ニ、徵兵管區ノ事務ト同様ニ、町村長ノ事務トナッテ、第何條デスカ、町村長ノ故障アルト云フ事ニ當ッテ、總テ代理シテ事務ヲ行フト云フ法律上ノ解釋ガ附クト思ヒマス

○熊谷直太君 成程七十七條ノ規定ヲ見ルト國家ノ事務ヲ市町村長カ扱フトコトガ、

出來ルヤウニテ居リマスカラ、ドウモ扱フト云フコトガ出來ナイト云フ理由ガナイカモ知レヌガ、ドウモ舊法ノ通りノ方ガ宜クハナイカト思フ、明カニ書イテアツタ方ガ——山内君ガ引カレマシタトコロノ教育ノコトニ付テノ規定ハ何カ單純ニ市町村長之ヲ行フト云フヤウナ規定ガアリマセウカ、チヨットソレヲ御聞キシタイ、ドウモ簡單過ギテ分ラヌト思ヒマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 教育事務ニ付テ別段何ハナイ

○齋藤隆夫君 是ハ此戶籍法ヲ取扱フテ居ル人カラ來タノデアリマスカラ、實際ノ事デアリマスガ、民法七百三十二條以下ニ親族ノ入籍ガ出來ルト云フコトガアツテ、之ガ未成年者デアレバ法定代理人ノ同意ヲ受レバ出來ルニ相違ナイガ 實際今日ノ取扱ヲ見ルト、未成年者ハ十五歳以下ノ無能力者アル以上ハ、入籍スルコトガ出來ヌト云フ、サウ云フコトハドウ云フ……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハヤハリ七百三十八條ノ方モ能力ヲ持タナケレバナラヌト云フコトニ司法省ハ解釋シテ居リマス、意思能力ノナイ者ハ這入レナイ

○齋藤隆夫君 サウスト司法省ノ方ノ解釋ハ十五歳以上ハ意思能力ガアツテ、十五歳以下ハ意思能力ガナイト、年齢ニ依ッテ……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 年齢ニ依ッテ限定シタコトハアリマセヌ、ソレハ事實問題ヲ意思能力ノ有無ヲ決スルコトニナツテ居リマス

○齋藤隆夫君 其事實問題ト云フコトハ誰ガ決定スルコトニナリマス

○司法省參事官(山内確三郎君) 此七百三十八條ハ即チ連レテニ關スル場合ニモ關係シテ居ル規定デ、サウシテ七百二十八條ノ解釋ハイロノニ分レテ、司法省ノ見解ハ七百二十八條ノ——七百二十八條同様に入籍者ガ意思能力ガナケレバナラヌト斯ウ解釋シテ居ル、然ルニ御承知デアリマセウカ、法曹會ト云フモノガ司法省内ニアリマシテ、ソレカラ反對ノ解釋ヲシテ、即チ連レテト云フモノハ固ヨリ意思能力ナクシテ引張リ込ムコトガ出來ナクチャナラヌト云フ方ニ解釋シテ居ル、然ルニ此間ヤハリ司法省ノ先例ヲ何方ニ極メルカト云フノデ、或ハ變更シヤウカ、或ハ維持シテ置カウカト云フ問題ニ付テ研究致シマス、實ハ民法ノ七百二十八條ガ餘リ廣過ギル、此意思能力アルコトヲ必要トスル司法省ノ先例ヲ變ヘルコトガ出來ナカッタ、連レテトナツテ居レバ宜イガ、七百二十九條ニ婚嫁又ハ養子縁組ニ因リテ他家ニ入リタル者ハ離婚又ハ離縁ノ場合ニ於テ實家ニ復籍スルト自己ノ親族トアリマスノデアリマスカラ、婚姻ニ依ルルケニ這入ツタ、是ハ自分ノ親デモ弟デモ或ハ從兄弟デモ、誰デモ引張リ込ムコトガ出來ルト云フ規定ニナツテ居ル、連レテ子ナレバ成程法曹會決議ノ通りナケレバナラナイガ、同ジク七百三十八條ニ入ッテ居ルト、連レテ子ナレバ話ハ別ニ解釋スルコトガ出來ル、サウスルト意思能力ノナイ者、例ハ其者ノ内ニ尤モ從弟ノ子ヲ自分ノ家カラ入レル、或ハ自分ハ貧乏人デアルガ、其親戚ニ自分ノ弟ガ二男三男トソレガ澤山アル、其弟ノ子ヲ自分ガ入レテ、意思能力ナキニ拘ラズ入レルト云フヤウニ七百二十八條ノ解釋スルコトニナルト困リマスカラ、結局前例ヲ壞ハスコトガ出來ヌ、故ニ此條ハ惡イカモ知レヌガ、解釋上致方ガナイト云フコトニナツテ居リマス

○齋藤隆夫君 唯今モ御説明ガアリマシタガ、サウシテ此未成年者其他ノ無能力者ニハ親權ヲ行フ法定ノ代理人ガアツテ、ソレ等ノ者ガ總テ能力アルコトニシテモ、一切ノ法律行為ニ付テハ無能力者ヲ代表シテ適法ニ仕事ヲスルコトガ出來ル、財産上デアラウガ、身分上デアラウカ、然ルニ單リ此方ノ此能力ノコトノミニ付テハ、意思能力ノ有無ヲ研究シテ、法定代理人ニ依テ出來ヌヤウニスルト云フコトハ、私ハ解釋スルコトガ出來ヌデアリマス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 法定代理人ガ財産上ノコトニ付テ無能力者ヲ代表スルコトガ出來ルト云フコトハ原則アルガ、身分上ノ關係ヲ代表スル事柄ハ例外ニナツテ居リマス、身分上ノ事柄ニ付テ、例ハ十五歳未満ノ者ガ養子縁組ヲスルニハ法定代理人ガ意思ヲ表示スルコトガ出來ルヤウニ特別規定ガアル、此場合ニハ無能力ニ依テ初メテ代理スルコトガ出來ルガ、ソコデ明文ノナイ限り身分上ニ付テハ代理人ガナイモノト解釋シテ居リマス

○齋藤隆夫君 次ニ例ハ漁師村ナドニ行キマス、漁師ガ魚ヲ獲リニ往ッテ、難船等ニ遭ツタ爲メ死シマウ、其場合ニ届出ニ困ル、今度ノ改正ノ百十九條ニソレニ類スルヤウナ場合ガアルガ、所ガ船ガ多クハ出テ、船モ人間モ共ニ死シマウト云フ場合ハ、別ニ官廳モ公署ガ之ニ關係スルコトガナイト思ヒマス、サリトテ第一百十六條ノ規定ニ依テ届出ノ義務者ガ届出ノシヤウガナイ、診斷書モ檢案書モ添ヘナケレバナラヌ、死シマウ者ニ檢案書モ診斷書モナイ、ドウモ届出ルコトガ出來ナイ非常ニ困ルコトガアリマス、是ハ何カ救済スル方法ガアリマスカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 實際ノ關係ヲ申上ゲマス、死亡届ノ場合ハ診斷書檢案書ヲ附ケルト云フコトガアルガタメ、多クノ市町村デハ必ず附ケナケレバナラヌト云フヤウナコトニ考ヘテ居ッタ向モアルデス、併ナガラ是ハ診斷書ノアル場合デ、或ハ檢案者ノアル場合デ、出來ルデアツテ、例ハ外國等デ死亡シタ時ハ診斷書ガナイ所ガアリマス、醫者ガナクテ出來ナイ所ハソレデ宜イノデアリマス

○齋藤隆夫君 サウ云フ場合ニハ附ケナクテモ宜カラウ、又附ケナイ場合ガ當然ト考ヘル、是ハ特ニ取扱法ヲ明カニシテ、各町村ヘ通牒致スト云フヤウニシタイ

○委員長(長島馨太郎君) 今ノ齋藤君ノ御尋デアリマスガ、百十六條ハ診斷書檢案書ヲ添付スルコトヲ要スルアル、診斷書ヲ附ケナケレバナラヌデセウ

○司法省參事官(山内確三郎君) 醫者ガ診察シナイ場合、又檢案スルコトノ出來ナイ場合ハ、死亡證ニ附ケナクテモ宜イト云フコトハ、或ル外國デ死亡シタ者ニ付テ其解釋ハ定ッテ居リマス

○委員長(長島馨太郎君) ソレハ解釋ガ定ッタゲテ、法律ノ規定ハアリマセヌカ

○司法省參事官(山内確三郎君) 規定ハアリマセヌ、法律ハ診斷書ノアル場合、又出來ク場合ト云フコトニ解釋シテ居リマス

○齋藤隆夫君 其解釋ハ宜イカラ、其解釋ヲ各町村役場ニモ徹底スルヤウニ御盡力ヲ願ハヌト、ソレガタメ死シテ居テ死亡届ヲ出ストコトガ出來ナイデ、田舎デハ困ルルモノガ澤山アリマス、モウ一ツ承ッテ置キマスガ、此規定ニ依ルハ婚養子縁組ヲスル場合、養子縁組婚姻ト一ツ出サナケレバナラヌト云フモノハ二ツデアリマス、ソ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 婚養子縁組ト云フモノハ二ツデアリマス、ソ

レガ實際取扱ニ於テ無益デアルカラ、何か一ツニスルコトハ出來ナイカト云フ希望ガアリマシタガ、何モ方法ガアリマセヌ

○司法省參事官(山内確三郎君) 其分モ考ヘテ見タ、然ルニ縁組届婚姻届ト一ツニナル譯デアリマス、其縁組ヲ届出ルト、ソレト婚姻ヲ届出ルト同時デアリマス、既ニ届出ル場所ガ同シ役場ニ届出ロト致シテ居リマスカラ、一本書ク代リニ二ツノ届書ヲ一緒ニ出スト云フ外ニハ仕方ガナイト思ヒマス

○荒川五郎君 戸籍法ニハ今ノ寄留ノコトガ段々アツタガ、現住所ノ記載ト云フノハナイノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) サウデス

○荒川五郎君 サウスルト本籍地ハ本人ノ住所ヲ知ルノハ、寄留簿カ何か別ノ規則ニ依ルノデスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 寄留簿ニ依テ出テ來ル届ガアリマスカラ、ソレデ本籍ニ於テ本人ノ現住所ヲ知ル譯デアリマス

○熊谷直太君 一ツ番地ニ澤山戸主ノアル場合ハ、ドウ云フ風ニ戸籍簿ノ作り方ヲシマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ別段「アルファベット」ニ依ルト云フコトモアリマセヌケレドモ、各地ノ戸籍役場テ相當ノ順序ヲ付ケテ順次ニ記入シテ居ルヤウデス

○熊谷直太君 ソレハ現行法テ斯ウツ形式ニスルト云フ御考ハナイカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 今日マテソレニ付テ著シキ困難ヲ感ジタコトガゴザイマセヌカラ、今日マテ別段訓令ヲ與ヘタト云フコトハゴザイマセヌ

○齋藤隆夫君 此戸主ヲ變更シタ場合ハ、現住所ハ死亡轉居等ニ依テ新タニ戸主ガ出來タ場合ハ、其戸籍ハスツカリ御變ヘニナリマスカ

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) サウデス、新戸籍ヲ作ル

○熊谷直太君 サウシテ前ノ戸籍ハ……

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) 除籍ニナリマス

○荒川五郎君 百四十五條デアリマスガ、分家ヲスル者ノ届出ニ自分ノ妻ハ分家ノ家族ニ這入ルガ當然デアリマセウガ、ソレハドノ箇條ニ依ルノデス

○政府委員(法學博士鈴木喜三郎君) ソレハ何時ツヤ述ベマシタガ、一箇條ニ纏マシテ總則ノ四十七條ノ二項、是デ當然這入ッテ往クヤツハ這入ッテ往ク譯ニナル

○委員長(長島濤太郎君) 最早質問ハゴザイマセヌカ

○島田俊雄君 質問ガ終ツタヤウデアリマスガ、是デ一應戸籍法外ニ件ノ質問ヲ終了シタト云フコトニシテ、サウシテ寄留法ニ付テノコトハ終了後ニ便宜速記ヲ止メテ協議ニシテ、吾々ノ協議會ト云フヤウナ風ニシテ、ソレニ便宜政府委員ノ御方ガ御立會下スツテ、意見ヲ述ベテ戴クコトニシタイ

○委員長(長島濤太郎君) ソレデハ是デ質問ヲ終了シテ閉會スルコトニ致シマシテ、是ヨリ協議會ニ移リマス

午後四時二十二分散會

大正三年三月七日印刷

大正三年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局